
年 報

平成20年度

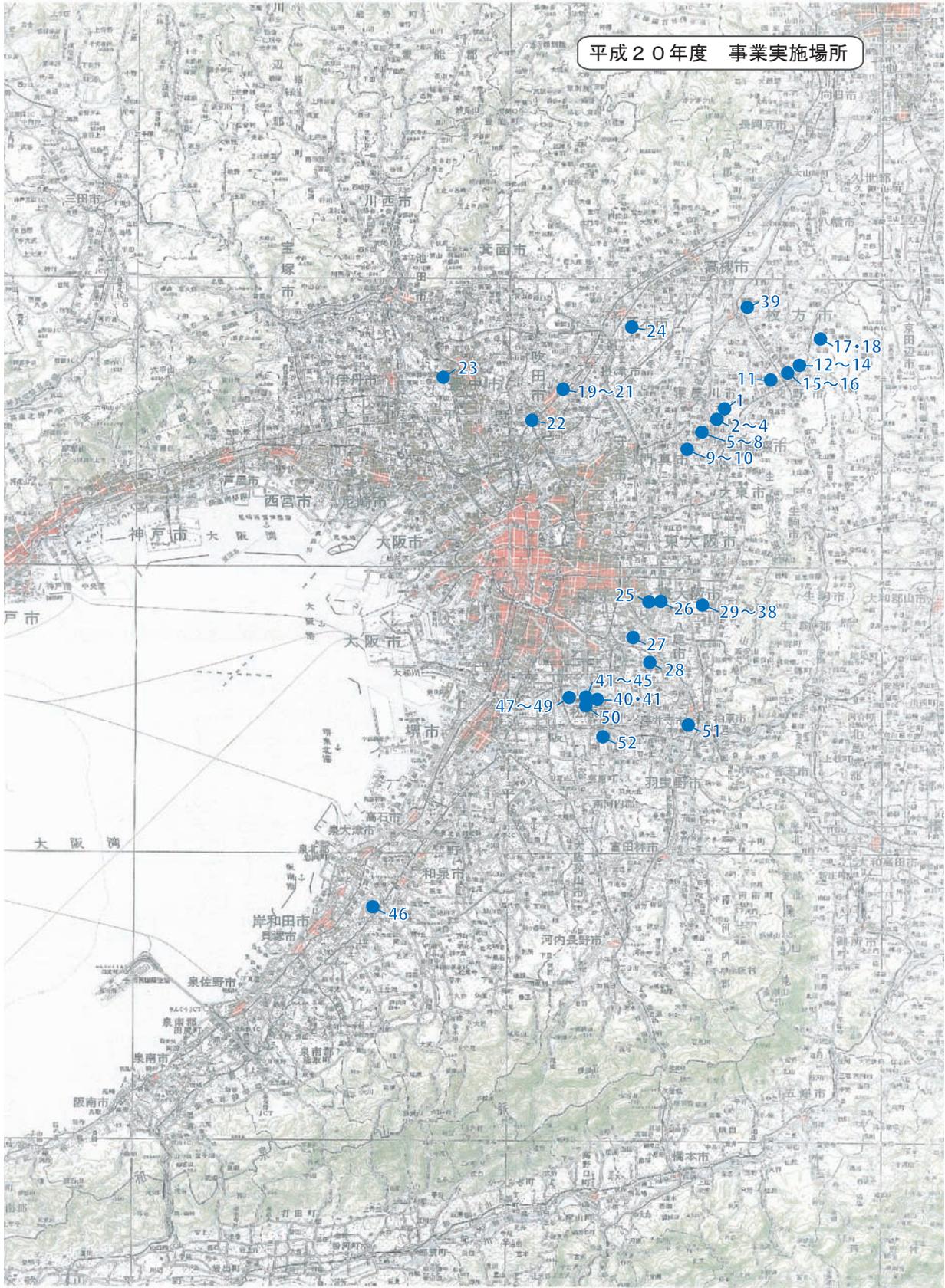
巻頭カラー



津田遺跡 青磁集合



新上小阪遺跡 方形周溝墓（弥生時代中期）



(地図は国土地理院平成11年8月1日発行 1/20万 京都および大阪、和歌山を縮小した。)

目 次

巻頭カラー	(1) 文献及び文化財情報の収集・整理	23
平成 20 年度事業実施場所	(2) 文化財情報のデジタル化	23
目次	C. 文化財資料提供事業	23
I 大阪府文化財センターの沿革と機構	(1) インターネット及び報道機関を通じての 情報の提供	23
1. 設立の趣旨	(2) 資料の出品、写真資料、ビデオなどの 貸出	24
2. 沿革	①資料の出品	24
3. 概要	平成 20 年度常設展示 貸出し資料一覧	24
(1) 目的	平成 20 年度 貸出し資料一覧	25
(2) 事業	②写真資料の貸出し	28
(3) 出資者	平成 20 年度写真貸出し・ 掲載許可申請	28
(4) 基本財産	③ビデオの貸出	29
(5) 機構《施設所在地》	平成 20 年度ビデオ貸出・ 上映一覧	29
(6) 役員・評議員及び職員	(3) 図書の出版・販売	29
a 役員	①図書の出版	29
b 評議員	②図書の販売	30
c 機構	(4) 出版物の寄贈・配付	30
d 職員	D. 文化財研究事業	30
II 平成 20 年度の事業概要及び決算	(1) 「近畿ブロック埋文研修会」	30
1. 理事会及び評議員会	(2) 第 4 回 地球研地域セミナー 「災害と「しのぎの技」 一池島・福万寺遺跡が語る 農業と環境の関係史」	30
2. 決算	(3) 全埋協コンピューター等研究委員会及び 地区委員会の参加、 それに伴う業務	30
3. 調査事業の概要	E. 文化財調査支援事業	30
(1) 調査事業一覧	F. 広報事業	30
(2) 主な調査の概要	(1) 年報の編集と発行	30
a 京阪調査事務所		
b 中部調査事務所		
c 南部調査事務所		
(3) 保存処理事業		
平成 20 年度保存処理一覧		
(4) 現地説明会等		
4. 普及啓発事業		
A. 文化財体験学習事業		
(1) 体験学習等の受け入れ		
(2) 発掘現場等の見学受け入れ		
B. 文化財資料収集事業		

Ⅲ. 大阪府立弥生文化博物館事業……………	31	7. 入館者数及び入館料収入一覧表……………	69
1. 常設展示……………	31		
2. 特展企画展事業……………	31	事務所・博物館所在地	
3. 講演会事業……………	33		
4. 「府民が参加する博物館」事業 ……	34		
5. 「博物館 in school」事業			
－博学連携事業……………	35		
6. 「どこでも博物館」事業 ……	38		
7. 「体験する博物館」事業 ……	39		
8. 各種連携事業……………	39		
9. 広報普及事業……………	42		
10. 研究事業 ……	43		
11. 資料製作事業 ……	43		
12. サービス事業 ……	43		
13. 自主事業 ……	44		
14. 入館者数および入館料一覧表 ……	44		
Ⅳ. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業……………	45		
1. 展示事業……………	45		
2. 「市町村と連携する博物館」事業 ……	50		
3. 「府民が参加する博物館」事業 ……	51		
4. 「博物館 in school」事業			
－博学連携事業……………	54		
5. 「どこでも博物館」事業 ……	55		
6. 「体験する博物館」事業 ……	56		
7. 企業との連携事業……………	57		
8. 広報普及研究事業……………	57		
9. 研究事業……………	59		
10. 資料調査収集製作事業 ……	59		
11. サービス事業 ……	59		
12. 入館者数および入館料一覧表 ……	60		
Ⅴ. 日本民家集落博物館事業 ……	61		
1. 日向椎葉の民家の			
保存修理事業について……………	61		
2. 展示事業について……………	61		
3. 各種催し事業……………	62		
4. 普及啓発事業について……………	66		
5. 広報事業について……………	68		
6. 館内施設の整備について……………	69		

I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

1. 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じての国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に(財)大阪文化財センターと(財)大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、財団法人大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に(財)大阪府博物館協会との統合により名称を(財)大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、これの公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託された。平成18年4月から指定管理者として「弥生文化博物館」、「近つ飛鳥博物館」、「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

2. 沿革

昭和 47.11.28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48. 1.10	・第2阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48. 4. 1	・事務局を設置。(職員数12名)
48. 5.25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
51. 7.26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
55. 8.19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57.11.27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58. 9. 1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59. 6. 1	・都市計画道路と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60. 4. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61. 2.28 ～3.4	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業(写真パネル展、講演会、映画会)を開催。
平成元. 4. 1	・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。 ・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。

- 平成 2. 4. 1 ・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
- 2. 9. 1 ・財団法人大阪府博物館協会設立。
- 3. 3. 1 ・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
- 4.11.27 ・財団法人大阪文化財センター設立 20 周年記念式典を開催。
- 7. 3.31 ・財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
- 7. 4. 1 ・財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、新組織を財団法
人大阪府文化財調査研究センターとして発足。
・本部事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 11 番 3 号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務
所を茨木市横江 1 丁目 17 - 34 に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調
査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とす
る。
組織の改正により、総務部、調査部の 2 部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、
調査部に調整課及び北部、中部、南部の 3 調査事務所を置く。
- 7.10. 3 ・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
- 7.12.15 ・南部調査事務所を堺市熊野町西 1 丁目 2 - 22 に移転。
- 8. 9.30 ・北部調査事務所を箕面市今宮 3 丁目 19 - 2 に移転。
- 9. 2.12 ・泉佐野収蔵庫竣工。
- 9. 3.31 ・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台 3 - 21 - 4）竣工。
- 10. 1.12 ・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里 3 丁
目 1 - 13 に開設。
- 10. 3.31 ・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
- 12. 8.21 ・本部事務所を 堺市竹城台 3 丁目 21 番 4 号に移転する。
- 13. 2. 1 ・南部調査事務所を 堺市南田出井町 1 丁目 1 番 10 号に移転する。
- 13.10.31 ・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
- 14. 2.25 ・財団法人大阪府博物館協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
- 14. 4. 1 ・財団法人大阪府文化財調査研究センターは財団法人大阪府博物館協会と統合し、「財団法
人大阪府文化財センター」に名称変更。
組織の改正により、総務部、調査部、普及部の 3 部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、
日本民家集落博物館部の 3 博物館部を置く。
日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博
物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
- 14.11. 1 ・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
- 15. 3.31 ・北部調査事務所を閉鎖。
- 15. 4. 1 ・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝 1 丁目 1 - 15 に開
設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘 1 丁目 2 に開設。
- 16. 4. 1 ・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
- 18. 1.31 ・泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西 2 丁目竣工。
- 18. 4. 1 ・大阪府弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館並びに近つ飛鳥風土記の丘の管理運営
を指定管理者として受託。
- 19. 4. 1 ・京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称
変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田 2 丁目 5-32 に開設。
- 20. 4. 1 ・組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を
置く。
- 20. 7.31 ・京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
- 21. 3.31 ・京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。

3. 概要

(1) 目的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

(2) 事業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ①埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ②史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤文化財の普及啓発
- ⑥日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨その他目的を達成するために必要な事業

(3) 出資者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、松下電器産業株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

(4) 基本財産 116,700 千円

(5) 機構《施設所在地》

ア 本部事務所	堺市南区竹城台3丁21番4号
イ 京阪調査事務所	交野市藤が尾1丁目2
ウ 中部調査事務所	東大阪市長田東1丁目9番16号
エ 南部調査事務所	堺市堺区南田出井町1丁1番10号
オ 京阪調査事務所寝屋川分室	寝屋川市萱島東3丁目28番4号
カ 中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町8丁目地先
キ 南部調査事務所古市分室	羽曳野市軽里3丁目1番13号
ク 資料室	東大阪市長田東1丁目9番16号
ケ 高石収蔵庫	高石市綾園4丁目地先
コ 岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町1丁目地先
サ 泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷(地内)
シ 泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西2丁目2430-1
ス 大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町4丁目8番27号
セ 大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山299番地
ソ 日本民家集落博物館	豊中市服部緑地1番2号

(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

(平成21年3月31日現在)

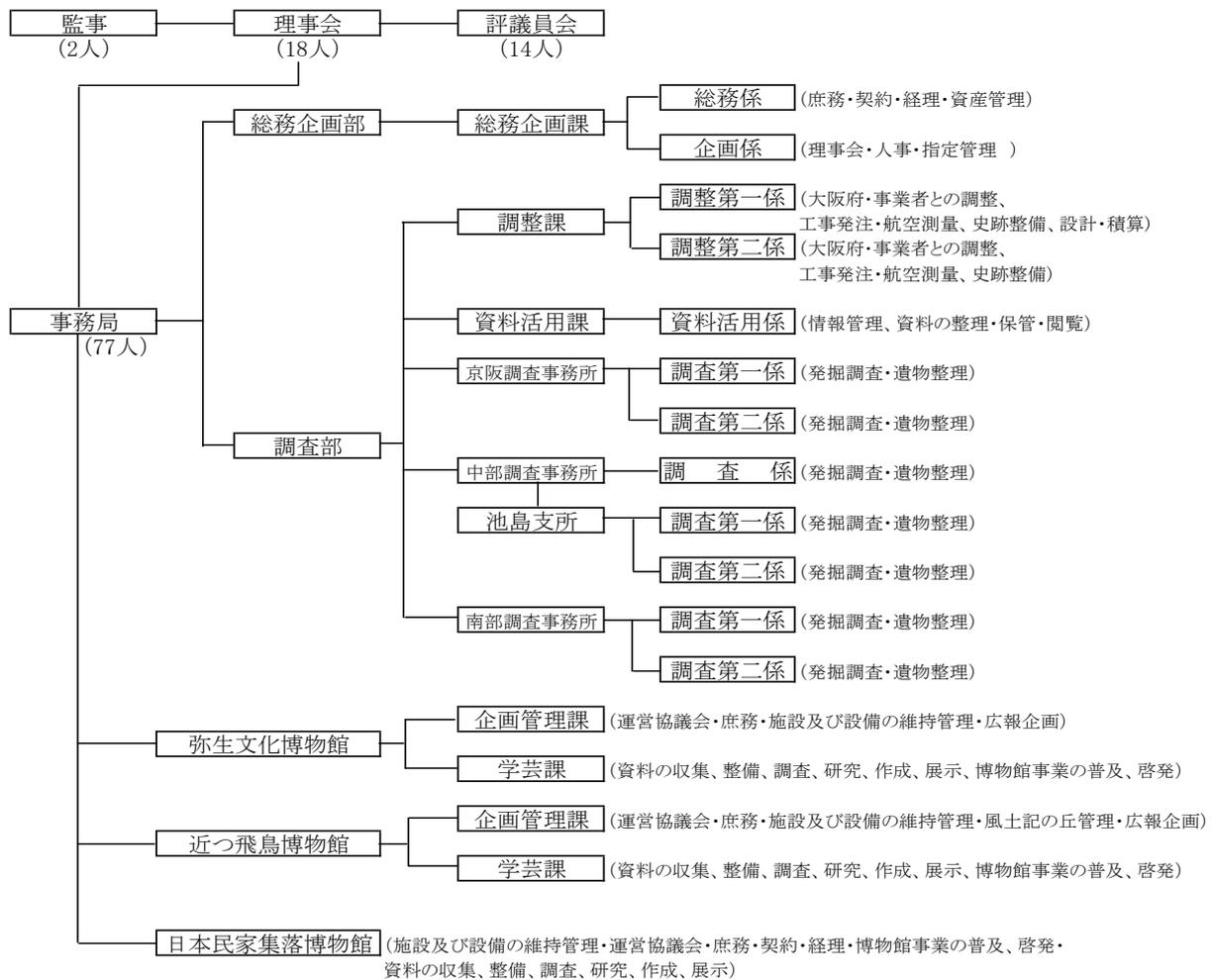
理事長	水野 正好	奈良大学 文学部名誉教授
専務理事	中平 正子	専任
理事	伊賀 節郎 井藤 徹 大橋 太郎 総山 哲男 金関 恕 近藤 公夫 佐々木高明 白石太一郎 高野 浩二 田邊 征夫 福岡 澄男 藤 洋作 町田 章 松園万亀雄 森下 洋一 領木新一郎	財団法人大阪府私学総連合会 代表 日本民家集落博物館 館長 阪急電鉄株式会社 相談役 大阪府教育委員会 教育長 大阪府立弥生文化博物館 館長 奈良女子大学 名誉教授 国立民族学博物館 名誉教授 大阪府立近つ飛鳥博物館 館長 元沖縄開発庁沖縄総合事務局 次長 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 所長 元財団法人大阪府文化財センター 普及部長 関西電力株式会社 相談役 元奈良文化財研究所 所長 国立民族学博物館 館長 松下電器産業株式会社 相談役 大阪ガス株式会社 相談役
監事	藤田 周子 真川 正満	財団法人藤田美術館 理事兼館長 公認会計士・税理士
顧問	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

b 評議員

(平成21年3月31日現在)

有川 春代	アーツ&クラフツ チタチタ 代表
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人大阪事務所 公認会計士
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟泉州地区協議会 相談役
沢田 正昭	国土館大学大学院グローバルアジア研究科 21世紀アジア学部 教授
杉本 尚次	国立民族学博物館・総合研究大学院大学 名誉教授
都出比呂志	大阪大学 名誉教授
富尾 昌秀	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長
永本 定芳	大阪府都市教育長協議会 代表(岸和田市教育委員会教育長)
二澤 隆史	大阪府町村教育長会 会長(田尻町教育委員会教育長)
狭間恵三子	サントリー株式会社大阪秘書室 課長 (財)大阪観光コンベンション協会 情報発信担当部長
藤本 裕子	メディアプロデューサー
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事 法務部長

C 機 構



d 職 員

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	中平 正子	技師	黒須亜希子
事務局次長兼総務企画部長	中川 隆雄	技師	内田 真雄
総務企画課長兼総務係長	秋山 芳廣	池島支所長兼調査第一係長	金光 正裕
副主査	宮本 哲男	主査	陣内 暢子
副主査	鎗山 洋子	技師	島崎 久恵
副主査	栗山さよ子	技師	福佐美智子
副主査	田渕 紀江	副主査	後藤 信義
囑託	酒井 則和	技師	井西 貴子
主査	白橋 哲	調査第二係長	西村 歩
総括学芸員(副主査)	山城 統	主査	辻本 武
調査部長	赤木 克視	副主査	井上 智博
調整課長	田中 和弘	副主査	駒井 正明
調整第一係長	岡戸 哲紀	技師	塚本 浩司
技師	竹内 秀喜	南部調査事務所長	大野 薫
調整第二係長兼企画係長	岡本 茂史	事務総括	村田 将
副主査	川瀬 貴子	調査第一係長	中村 淳磯
資料活用課長	小野 久隆	主査	入江 正則
資料活用係長	村上 年生	技師	新海 正博
主査	山口 誠治	技師	市村慎太郎
技師	河端 智	技師	正岡 大実
京阪調査事務所長	山本 彰	調査第二係長	森屋美佐子
事務総括	岡田 輝雄	副主査	三宮 昌弘
主査	上野 貞子	技師	枅本 哲
調査第一係長	三好 孝一	技師	中尾 智行
主査	村上富喜子	弥生文化博物館館長	金関 恕
副主査	佐伯 博光	副館長兼企画管理課長	蔭山 武夫
副主査	信田真美世	主任	峠 美穂
技師	奥 和之	学芸課長	江浦 洋
技師	後川恵太郎	総括学芸員(副主査)	合田 幸美
副主査	若林 幸子	主任学芸員	永野 仁
技師	船築 紀子	近つ飛鳥博物館館長	白石太一郎
副主査	本間 元樹	副館長兼企画管理課長	浅田 稔
副主査	森本 徹	事務主任	中野 孝
調査第二係長	秋山 浩三	広報主任	松浦 暢久
技師	奥村 茂輝	学芸課長	市本 芳三
中部調査事務所長兼調査係長	寺川 史郎	主任学芸員	廣瀬 時習
主査	片山 彰一	主任学芸員	鹿野 墨
副主査	岡本 圭司	日本民家集落博物館館長	井藤 徹
副主査	亀井 聡	副館長	奥村 直樹
副主査	林 日佐子	総括学芸員(副主査)	小島 久美
副主査	伊藤 武		

II 平成20年度の事業概要及び決算

1. 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成20年6月25日	第1回評議員会	大阪府立弥生文化博物館	1. 平成19年度事業報告及び決算について
	第1回理事会	大阪府立弥生文化博物館	1. 平成19年度事業報告及び決算について
平成20年7月25日	第2回評議員会	大阪府立近つ飛鳥博物館	1. 平成20年度本格事業計画書(案)及び本格収支予算書(案)について
	第2回理事会	大阪府立近つ飛鳥博物館	1. 平成20年度本格事業計画書(案)及び本格収支予算書(案)について
平成21年1月23日	第3回評議員会	大阪赤十字会館	1. 平成20年度補正予算書(案)について
	第3回理事会	大阪赤十字会館	1. 平成20年度補正予算書(案)について
平成21年3月26日	第4回評議員会	大阪府立弥生文化博物館	1. 平成20年度補正予算書(案)について 2. 平成21年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について 3. 理事及び監事の選任について
	第4回理事会	大阪府立弥生文化博物館	1. 平成20年度補正予算書(案)について 2. 平成21年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について 3. 理事長及び専務理事の互選について

2. 決 算

収 支 計 算 書 総 括 表

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

科 目		一般会計	弥生文化博物館 特別会計	近つ飛鳥博物館 特別会計
I	事業活動収支の部			
1.	事業活動収入			
	① 基本財産運用収入	1,658,537	0	0
	② 特定資産運用収入	12,061,556	0	0
	③ 会費収入	0	0	0
	④ 事業収入	1,739,119,908	138,480,952	156,590,094
	⑤ 補助金等収入	0	0	0
	⑥ 寄附金収入	23,733,300	0	0
	⑦ 雑収入	2,397,338	151,819	140,437
	⑧ 他会計からの繰入金収入	5,038,424	1,200,000	250,000
	事業活動収入計	1,784,009,063	139,832,771	156,980,531
2.	事業活動支出			
	① 事業費支出	1,568,746,672	136,726,469	156,188,331
	② 管理費支出	152,438,858	0	0
	③ 他会計への繰入金支出	2,788,150	2,936,870	1,196,730
	事業活動支出計	1,723,973,680	139,663,339	157,385,061
	事業活動収支差額	60,035,383	169,432	△ 404,530
II	投資活動収支の部			
1.	投資活動収入			
	① 特定資産取崩収入	114,021,519	0	0
	② 固定資産売却収入	28,571	0	0
	③ 敷金・保証金戻り収入	1,150,000	0	0
	④ 他会計からの繰入金収入	60,000,000	0	0
	投資活動収入計	175,200,090	0	0
2.	投資活動支出			
	① 特定資産取得支出	250,819,449	0	0
	② 固定資産取得支出	635,000	0	0
	③ 他会計への繰入金支出	0	0	0
	投資活動支出計	251,454,449	0	0
	投資活動収支差額	△ 76,254,359	0	0
III	財務活動収支の部			
1.	財務活動収入	0	0	0
2.	財務活動支出			
	① リース債務返済支出	14,389,061	0	0
	② 他会計への繰入金支出	0	30,000,000	30,000,000
	財務活動支出計	14,389,061	30,000,000	30,000,000
	財務活動収支差額	△ 14,389,061	△ 30,000,000	△ 30,000,000
IV	予備費支出	0	0	0
	当期収支差額	△ 30,608,037	△ 29,830,568	△ 30,404,530
	前期繰越収支差額	61,276,331	29,899,569	30,944,758
	次期繰越収支差額	30,668,294	69,001	540,228

(単位：円)

日本民家集落博物館特別会計	財団自主事業特別会計	府立博物館自主事業特別会計	内部取引消去	合計
0	0	0	0	1,658,537
586,973	0	132,057	0	12,780,586
3,650,000	0	0	0	3,650,000
12,773,874	2,725,812	8,539,410	△ 118,740	2,058,111,310
28,923,000	0	0	0	28,923,000
1,933,464	0	100,000	0	25,766,764
1,301,439	12,962	644,310	0	4,648,305
788,150	2,000,000	0	△ 9,276,574	0
49,956,900	4,738,774	9,415,777	△ 9,395,314	2,135,538,502
47,968,405	3,833,950	6,865,476	△ 118,740	1,920,210,563
0	0	0	0	152,438,858
0	904,824	1,450,000	△ 9,276,574	0
47,968,405	4,738,774	8,315,476	△ 9,395,314	2,072,649,421
1,988,495	0	1,100,301	0	62,889,081
3,179,126	0	0	0	117,200,645
0	0	0	0	28,571
0	0	0	0	1,150,000
0	0	0	△ 60,000,000	0
3,179,126	0	0	△ 60,000,000	118,379,216
4,350,602	0	0	0	255,170,051
1,050,000	0	0	0	1,685,000
0	0	0	0	0
5,400,602	0	0	0	256,855,051
△ 2,221,476	0	0	△ 60,000,000	△ 138,475,835
0	0	0	0	0
0	0	0	0	14,389,061
0	0	0	△ 60,000,000	0
0	0	0	△ 60,000,000	14,389,061
0	0	0	60,000,000	△ 14,389,061
0	0	0	0	0
△ 232,981	0	1,100,301	0	△ 89,975,815
2,265,298	0	12,255,253	0	136,641,209
2,032,317	0	13,355,554	0	46,665,394

3. 調査事業の概要

(1) 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	遺跡（調査名）	調査地	受託事業名	工事・委託名	事業者	事業の種別			
寝屋川分室・門真分室	1 太秦遺跡（太秦古墳群）08-1〔調査〕	寝屋川市打上	第二京阪道路（大阪北道路）讃良郡条里遺跡他遺物整理（その3）	太秦遺跡	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所	道路建設			
	2 高宮遺跡08-1〔調査〕	寝屋川市小路		高宮遺跡（その5）					
	3 高宮遺跡07-1〔調査〕	寝屋川市高宮		高宮遺跡					
	4 高宮遺跡（遺物編）〔整理〕	寝屋川市高宮・小路		高宮遺跡					
	5 讃良郡条里遺跡08-1〔調査〕	寝屋川市高宮・小路		讃良郡条里遺跡					
	6 讃良郡条里遺跡03-4〔整理〕	寝屋川市新家2丁目他		讃良郡条里遺跡（その5）					
	7 讃良郡条里遺跡06-2〔整理〕	寝屋川市新家2丁目		讃良郡条里遺跡（その6）					
	8 讃良郡条里遺跡06-3〔整理〕	寝屋川市讃良東町		讃良郡条里遺跡（その7）					
	9 巢本遺跡03-2〔整理〕	門真市北巢本町		第二京阪道路（大阪北道路）巢本遺跡遺物整理（その2）			巢本遺跡（その2）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所	道路建設
	10 巢本遺跡06-1〔整理〕	門真市北巢本町		巢本遺跡（その3）					
京阪調査事務所	11 上の山遺跡08-1〔調査〕	交野市私部西5丁目・枚方市茄子作南町	第二京阪道路（大阪北道路）上私部・私部南遺跡他遺物整理／平成20年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理作業（上私部・私部南遺跡他）	上の山遺跡（その7）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設			
	12 上私部遺跡08-1〔調査・整理〕	交野市青山3丁目		有池遺跡（その6）・上私部遺跡（その4）					
	13 有池遺跡07-1・上私部遺跡07-2〔調査・整理〕	交野市青山2丁目		上私部遺跡（その3）					
	14 上私部遺跡07-1〔整理〕	交野市青山2丁目		私部南遺跡（その2）					
	15 私部南遺跡06-1〔整理〕	交野市私部南1丁目		第二京阪道路（大阪北道路）私部南遺跡発掘調査（その3の2）／平成20年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（私部南遺跡その3の2）			私部南遺跡（その3）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	16 私部南遺跡07-1〔調査〕	交野市向井田1丁目							
	17 津田遺跡08-2〔調査〕	枚方市津田南町2丁目		第二京阪道路（大阪北道路）津田遺跡発掘調査（その3）／平成20年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（津田遺跡その3）			津田遺跡（その4）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	18 津田遺跡08-1〔調査・整理〕	枚方市津田南町1丁目		第二京阪道路（大阪北道路）津田遺跡発掘調査（その2）／平成20年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（津田遺跡その2）			津田遺跡（その3）		

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H20. 4. 1～ H21. 3. 31	85,127,700	730	弥生時代～古代 集落跡、周溝 墓、古墳	溝	秋山浩三 (市田英介)	奥村茂輝 (市来真澄)	
		975	古代～中世 集落	溝・土坑 土師器・須恵器	秋山浩三 (市田英介)	奥村茂輝	
		130	旧石器時代～中世 官衙・道路・集 落	土師器・須恵器	秋山浩三 (市田英介)	奥村茂輝 (市来真澄)	
		0	古墳時代～中世 集落・官衙	土師器・須恵器・韓式土器・瓦器・瓦質土 器・陶磁器・鉄器・瓦	奥村茂輝		
		305	古墳時代～中世 集落・生産	溝・土坑 土師器・須恵器	秋山浩三 (市田英介)	奥村茂輝 (市来真澄)	
		0	縄文時代～中世 集落・生産	水田・掘立柱建物・堅穴住居・井戸・溝・ 土坑 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒 色土器・瓦器・陶器・磁器・石器・木製品 建物・井戸・土坑・土器埋納遺構・流路・ 水田	中尾智行		
		0	弥生時代～古代 集落・生産	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦 器・動物遺存体・木製品・鉄製品・石製品	森本徹		
		0	弥生時代～古代 集落・生産	掘立柱建物・土坑・耕作溝 須恵器・土師器・瓦器・瓦・石製品・木製 品	奥村茂輝		
H20. 6. 1～ H20. 12. 26	7,649,250	0	中世 集落・生産	掘立柱建物・井戸・ピット・土坑・溝・畦 畔 瓦器桶・羽釜・足釜・土師器皿・須恵質播 鉢・陶器播鉢・青磁碗・白磁碗・瓦	伊藤武		
		0	中世 集落・生産	溝・掘立柱建物・井戸・ピット・土坑 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・ 磁器・瓦・木製品	伊藤武 (市田英介)		
H20. 4. 1～ H21. 3. 31	101,556,000	470	弥生時代～中世 道路・集落	土坑・溝・道路遺構・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土 器・国産陶磁器・サヌカイト剥片	後藤信義		
		1,022	古墳時代～中世 集落・耕作地	掘立柱建物・土坑・堅穴建物・溝・柱穴・ 水田・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦質土器・土 製品・瓦・木製品・銭貨	黒須亜希子	若林幸子	
		406	縄文時代～中世 集落・耕作地	掘立柱建物・土坑・堅穴建物・溝・柱穴・ 水田・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁 器・土製品・石器未成品・玉・木製品・銭 貨	黒須亜希子	若林幸子	平成19～20年度
		0	古墳時代・中世 集落	掘立柱建物・堅穴住居・柵・溝・土坑・水 田 土師器・須恵器・U字形土製品・移動式竈・ 瓦器・陶磁器・木製品・金属器	若林幸子		
		0	縄文時代～中世 集落・生産	堅穴住居・掘立柱建物・溝・土坑・ピッ ト・井戸・耕作痕 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦 器・陶磁器・石器・鉄器・木器・銭貨・帯 金具・骨	三好孝一 (吉田綾子)	船築紀子	
H20. 4. 1～ H21. 3. 31	297,552,150	11,026	縄文～中世 集落・生産	掘立柱建物・堅穴建物・井戸・溝・土坑・ 耕作痕・水田・流路 縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・製 塩土器・黒色土器・瓦器・陶磁器・滑石製 子持勾玉・サヌカイト・扉板転用井戸枠・ 建築部材・椅子材	田中龍男 奥和之 後藤信義 (村田裕介) (市来真澄)	西村公助 佐伯博光 信田真美世 後川恵太郎 (松岡淳平)	平成19～21年度
H20. 10. 1～ H21. 3. 31	28,136,850	2,680	古代～近世 寺院・生産	礎石建物・鍛冶工房・石仏列・石組・土 坑・ピット 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・鉄器・石 仏・五輪塔・銭貨・荘殿具	本間元樹	森本徹	
H20. 6. 1～ H21. 3. 31	53,899,650	2,113	古代～中世 集落・生産	流路・溝・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土 器・瓦・五輪塔	本間元樹 内田真雄	河端智 湯本整 村上富貴子	

管轄	遺跡（調査名）	調査地	受託事業名	工事・委託名	事業者	事業の種別
中部調査事務所	19 吹田操車場遺跡06-1〔整理〕	吹田市芝田町	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡遺物整理 8	吹田操車場遺跡（その4）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	20 吹田操車場遺跡07-1〔調査〕	吹田市芝田町	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡発掘調査 7	吹田操車場遺跡（その5）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	21 吹田操車場遺跡07-1〔整理〕	吹田市芝田町	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡遺物整理 9	吹田操車場遺跡（その5）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	22 吹田市南部遺跡群08-1〔確認〕	吹田市穂波町	吹田（信）基盤整備工事（貨物専用道路）に伴う吹田市南部遺跡群埋蔵文化財発掘調査	吹田市南部遺跡群	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	23 走井遺跡08-1〔調査・確認〕	豊中市走井 2 丁目	北部大阪都市計画緑地第203-2号大阪国際空港周辺緑地埋蔵文化財調査	走井遺跡（確認-その2）	国土交通省 大阪航空局	緑地造成工事
	24 玉櫛遺跡06-1〔整理〕	茨木市玉櫛 2 丁目	府営茨木玉櫛住宅（建て替え）に伴う玉櫛遺跡遺物整理（その2）	玉櫛遺跡（その5）	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設
	25 新上小阪遺跡08-1〔調査〕	東大阪市新上小阪	大阪府営東大阪新上小阪住宅民活プロジェクトに伴う新上小阪遺跡発掘調査	新上小阪遺跡（P F I）	中道・コーナン特定建設工事共同企業体（大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課）	集合住宅建設
	26 山賀遺跡08-1〔調査・整理〕	八尾市新家町 5 丁目	寝屋川水系改良事業（一級河川寝屋川新家調節池）地内の埋蔵文化財に係る発掘調査（その3）	山賀遺跡（その2）	大阪府八尾土木事務所	調節池築造
27 久宝寺遺跡08-1〔調査〕	八尾市西久宝寺	寝屋川流域下水道中央南増補幹線（-）人孔築造工事に伴う久宝寺遺跡発掘調査（その2）	久宝寺遺跡（下水・その2）	大阪府東部流域下水道事務所	下水道人孔築造工事	
28 植松遺跡08-1〔調査〕	八尾市植松町 8 丁目	大阪府営八尾植松（第2期）住宅（建て替え）建設工事に伴う植松遺跡発掘調査	植松遺跡（その2）	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設	
池島支所	29 池島・福万寺遺跡06-1〔調査〕	八尾市福万寺町 8 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その5）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その5-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	30 池島・福万寺遺跡06-2〔調査〕	東大阪市池島町 4 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その6）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その6-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	31 池島・福万寺遺跡07-1〔調査〕	八尾市福万寺町 8 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その7）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その7-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	32 池島・福万寺遺跡05-1〔整理〕	八尾市福万寺町 8 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その7）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その3-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	33 池島・福万寺遺跡07-2〔調査〕	東大阪市池島町 7 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その8）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その8-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	34 池島・福万寺遺跡05-2〔整理〕	東大阪市池島町 7 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その8）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その4-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	35 池島・福万寺遺跡08-1〔調査〕	八尾市福万寺町 6 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その9）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その9-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	36 池島・福万寺遺跡06-1〔整理〕	八尾市福万寺町 8 丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その9）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その5-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H19. 8. 1～ H20. 7. 31	434, 700	0	弥生時代～近世 集落・耕作地	群集土坑・土坑・溝・掘立柱建物・井戸・杭 列・ピット・流路 弥生土器・土師器・陶磁器・瓦・須恵器・瓦 器・石器・石製品・木製品	駒井正明		平成19～20年度
H19. 5. 1～ H20. 11. 30	114, 539, 250	5, 566	弥生時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・柱穴・土坑・溝・井戸・流路 陶器・磁器・瓦器・黒色土器・土師器・須恵 器・石製品・銭貨・木製品	岡本圭司 (赤松佳奈)	亀井聡	平成19～20年度
H20. 12. 1～ H22. 3. 31	10, 550, 400	0	弥生時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・柱穴・土坑・溝・井戸・流路 陶器・磁器・瓦器・黒色土器・土師器・須恵 器・石製品・銭貨・木製品	岡本圭司 (赤松佳奈)		平成20～21年度
H20. 11. 1～ H20. 12. 26	3, 559, 500	27		足跡・河川？ 弥生土器・須恵器・瓦器・木製品	寺川史郎	亀井聡	
H20. 10. 1～ H20. 12. 19	6, 348, 300	137	中世 集落・生産	溝・ピット・河川・落ち込み 土師器・須恵器・瓦器・磁器	辻本武		
H20. 9. 16～ H20. 12. 26	1, 134, 000	0	弥生時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・井戸・溝・土器埋納遺構・土 坑・ピット・畦畔 弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・黒色 土器・瓦器・瓦質土器・陶器・高麗象嵌青 磁・磁器・瓦・炉壁片・砥石・鞍・漆器・ま じない札・短刀・銭貨・馬鍬歯・動物骨	信田真美世		
H20. 9. 1～ H22. 12. 22	28, 975, 800	1, 450	弥生時代～中世 集落・墓域	掘立柱建物・溝・方形周溝墓 礎・瓦・土師器・弥生土器・土師器・統一新 羅系土器	伊藤武	林日佐子	平成20～22年度
H20. 11. 26～ H21. 8. 31	9, 914, 100	133	弥生時代～中世 生産・集落	水田・溝・建物・井戸・柱穴・流路・木棺 墓・周溝墓？ 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・ 木製品・土製品・円筒植輪・サヌカイト・木 棺	亀井聡		平成20～21年度
H20. 11. 4～ H22. 3. 31	10, 140, 900	392	縄文時代～近世 生産・集落・墓 域	耕作痕・土坑 土師器・須恵器・瓦質土器・陶磁器	内田真雄		平成20～21年度
H20. 11. 4～ H22. 1. 29	26, 853, 750	0	弥生時代～中世 集落・生産	水田・畦畔・溝・島畑・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	黒須亜希子		平成20～21年度
H18. 9. 1～ H20. 8. 29	97, 392, 750	2, 385	縄文時代～近世 生産	水田・島畑・溝・土坑・ピット・杭列 陶器・磁器・瓦・瓦質土器・土師器・須恵 器・弥生土器・鉄製品・木製品・土製品	西村歩 塚本浩司	服部みどり (垣内拓郎)	平成18～20年度
H18. 9. 1～ H20. 5. 30	29, 911, 350	2, 425	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畑・坪境・溝・土坑・ピット・杭列 陶器・磁器・土師器・瓦・瓦器・瓦質土器・ 須恵器・弥生土器・縄文土器・鉄器・石器・木 製品・石製品・土製品・銅鏡	湯本整 (飯田浩光)	陣内暢子 (乾哲也)	平成18～20年度
H19. 9. 3. ～ H21. 10. 30	220, 710, 000	3, 950	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島畑 瓦器・土師器・須恵器	西村歩 (吉田知史)	田中龍男 辻本武 井上智博	平成19～21年度
H19. 9. 3. ～ H21. 10. 30		0	縄文時代～江戸 時代 生産・集落	水田・畦畔・溝・掘立柱建物・井戸・土坑・ 島畑 縄文土 器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦質土器・ 陶磁器・木製品・石製品・金属製品	塚本浩司		平成19～20年度
H19. 9. 3. ～ H21. 10. 30	208, 396, 000	3, 891	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島畑 瓦器・土師器・須恵器	金光正裕 (乾哲也)	島崎久恵 福佐美智子	平成19～21年度
H19. 10. 1. ～ H21. 10. 30		0	縄文時代～江戸 時代 生産・集落	水田・水路・溝・杭列・ピット・島畑 縄 文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦質土 器・陶磁器・木製品・石器	陣内暢子		平成19～20年度
H20. 9. 1. ～ H22. 8. 31	70, 645, 050	3, 982	中世～近世 生 産	水田・坪境畦畔・土坑 土師器・陶磁器	西村歩 (垣内拓郎)	駒井正明	平成20～22年度
H20. 9. 1. ～ H22. 8. 31		0	縄文時代～近 現代 生産	水田・畑 陶器・磁器・瓦	塚本浩司		平成20～21年度

	遺跡(調査名)	調査地	受託事業名	工事・委託名	事業者	事業の種類	
池島支所	37 池島・福万寺遺跡08-2〔調査〕	東大阪市池島町5丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その10)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その10-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成	
	38 池島・福万寺遺跡06-2〔整理〕	東大阪市池島町4丁目		池島・福万寺遺跡Ⅱ(その6-1)			
南部調査事務所	39 禁野本町遺跡08-1〔確認〕	枚方市禁野本町2丁目	枚方合同宿舍埋蔵文化財発掘確認調査業務	禁野本町遺跡発掘調査(確認)	財務省近畿財務局	集合住宅建設	
	40	三宅西遺跡04-2〔整理〕	松原市三宅西5丁目	一般府道 住吉八尾線外 三宅西遺跡遺物整理委託	三宅西遺跡(その2)	大阪府富田林土木事務所	道路建設
		三宅西遺跡04-3〔整理〕	松原市三宅西6丁目		三宅西遺跡(その3)		
		三宅西遺跡07-1〔整理〕	松原市三宅西5丁目		三宅西遺跡(その4)		
		三宅西遺跡07-2〔整理〕	松原市三宅西5丁目		三宅西遺跡(その5)		
	41 池内遺跡08-2・三宅西遺跡08-1〔調査〕	松原市天美北1丁目・三宅西5・6丁目	都市計画道路 大和川線外 池内遺跡(その3)・三宅西遺跡(その2)発掘調査委託	池内遺跡	大阪府富田林土木事務所	道路建設	
	42 池内遺跡08-1〔調査〕	松原市天美北1・6丁目	都市計画道路 大和川線外 池内遺跡(その2)発掘調査委託	池内遺跡(その4)	大阪府富田林土木事務所	道路建設	
	43 池内遺跡05-1〔整理〕	松原市天美東3丁目		池内遺跡(その1)	大阪府富田林土木事務所	道路建設	
	44 池内遺跡05-2〔整理〕	松原市天美北1丁目	都市計画道路 大和川線外 池内遺跡遺物整理委託	池内遺跡(その2)			
	45 池内遺跡07-1〔整理〕	松原市天美東3丁目		池内遺跡(その3)			
46 下池田遺跡07-1〔調査・整理〕	岸和田市下池田町3丁目	大阪府岸和田下池田住宅民活プロジェクトに伴う下池田遺跡発掘調査	下池田遺跡(PF1)	(株)奥村組 関西支店(大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課)	集合住宅建設		
古市分室	47 大和川今池遺跡07-1〔調査〕	堺市北区常磐町3丁目・松原市天美西8丁目	都市計画道路 大和川線 大和川今池遺跡(その2)発掘調査委託	大和川今池遺跡(その2)	大阪府富田林土木事務所・堺市	道路建設	
	48 大和川今池遺跡07-1〔整理〕	堺市北区常磐町3丁目・松原市天美西8丁目	都市計画道路 大和川線 大和川今池遺跡(その2)遺物整理委託	大和川今池遺跡(その2)	大阪府富田林土木事務所・堺市	道路建設	
	49 大和川今池遺跡06-1〔整理〕	松原市天美西3丁目・大阪市東住吉区矢田7丁目	都市計画道路 大和川線外 大和川今池遺跡遺物整理委託	大和川今池遺跡	大阪府富田林土木事務所	道路建設	
	50 池内遺跡隣接地確認08-1〔確認〕	松原市天美北5～8丁目	都市計画道路堺原線関連事業の建設に伴う池内遺跡隣接地確認調査委託	池内遺跡隣接地確認	大阪府富田林土木事務所	道路建設	
	51 船橋遺跡07-1〔整理〕	柏原市大正2丁目	大和川改修(高規格堤防)事業に伴う船橋遺跡遺物整理	船橋遺跡(その5)	国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所	高規格堤防建設	
	52 若山遺跡08-1〔調査〕	松原市上田6丁目	(仮称)松原ポンプ場築造工事に伴う若山遺跡発掘調査委託	若山遺跡	大阪府水道部南部水道事業所	ポンプ場建設	

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H20.9.1.～ H22.9.30	64,897,350	3,666	縄文時代～近世 生産・集落	水田・坪境畦畔・鳥島・溝・ピット 土師器・須恵器・陶磁器・瓦・瓦器・瓦質 土器	後藤信義 (飯田浩光)	井西貴子	平成20～22年度
H20.9.1.～ H22.9.30		0	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畑・坪境・溝・土坑・ピット・杭列 陶器・磁器・土師器・瓦・瓦器・瓦質土器・ 須恵器・弥生土器・縄文土器・鉄器・石器・木 製品・石製品・土製品・銅鏡	陣内暢子		平成20～21年度
H21.2.21～ H21.3.27	4,381,650	144	弥生時代～中世	土師器・須恵器	中村淳磯		
H18.10.2～ H21.3.31	37,469,250	0	弥生時代～近世 集落・生産	竪穴住居・周溝墓・掘立柱建物・溝・土 坑・ピット・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器・ サヌカイト・馬骨	中村淳磯	村上富喜子	平成18～20年度
		0	縄文時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・溝・土坑・井戸・ピット・竪 穴住居・流路・堰 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・百 濟土器・韓式土器・サヌカイト・石器			
		0	弥生時代～中世 集落	竪穴住居・土坑・溝・柱穴・井戸・流路 弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・サヌ カイト			
		0	縄文時代～中世	竪穴住居・掘立柱建物・溝・ピット・土 坑・井戸・畦畔・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦・石 鏝・石包丁・サヌカイト			
H20.8.1～ H21.12.28	19,502,700	978	縄文時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・環濠・溝・土坑・井戸・ピット ・流路・縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・黒色土器・瓦・瓦器・陶磁器	正岡大実		
H20.4.1～ H20.7.31	9,862,650	598	縄文時代～中世	掘立柱建物・土器廃棄土坑・溝・ピット・ 土坑・落ち込み・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒 色土器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・石鏝・ 移動式竈	正岡大実		
H19.4.2～ H21.3.31	52,609,200	0	弥生時代～中世 集落・生産	井戸・土坑・掘立柱建物・水田・溝 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦 器・石器	入江正則	新海正博	平成19～20年度
		0	弥生時代～中世 集落・生産	溝・土坑・水田・掘立柱建物・道路状遺 構・井戸 弥生土器・土師器・須恵器・土師器・黒色土器・緑 釉陶器・銭貨・瓦			
		0	弥生時代～中世	弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・埴 輪・瓦・金属器・陶器・磁器・サヌカイト			
〔調査〕 H19.11.1～ H20.7.31	47,523,000	7,068	弥生時代～古墳 時代・近代	竪穴住居・掘立柱建物・井戸・ピット・流 路・溝・土坑・粘土探掘坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土 器・陶磁器・瓦・石器・蛸壺・レール・銅 鏝・絵画土器	駒井正明 (奈良拓弥)	市村慎太郎	平成19～20年度
〔整理〕 H20.8.1～ H21.7.31		0	弥生時代～古墳 時代・近代	竪穴住居・掘立柱建物・井戸・ピット・流 路・溝・土坑・粘土探掘坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土 器・陶磁器・瓦・石器・蛸壺・レール・銅 鏝・絵画土器	市村慎太郎 (奈良拓弥)		平成20～21年度
H19.11.20～ H21.2.27	57,009,750	4,590	弥生時代～近世 集落・生産・道 路	道路遺構・大畦畔・溝・鋤溝・ピット 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土 器・陶器・磁器・瓦・鉄・石器・木製品	三宮昌弘 (水野恵理子)	福佐美智子	平成19～20年度
H21.3.2～ H21.7.31	2,516,850	0	弥生時代～近世 集落・生産・道 路	道路遺構・大畦畔・溝・鋤溝・ピット 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土 器・陶器・磁器・瓦・鉄・石器・木製品	三宮昌弘 (水野恵理子)		平成20～21年度
H20.9.1～ H21.8.31	14,763,000	0	弥生時代～中世 集落・古墳・生 産	掘立柱建物・古墳周濠・埴輪棺・井戸・土 坑・溝・柱穴・水田・自然流路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦 器・瓦・陶磁器・埴輪・木製品・石製品・ 金属製品・土製品	森屋美佐子		平成20～21年度
H20.10.1～ H21.1.20	6,124,650	59	古代～中世 生産	土坑・ピット 土師質土器・須恵器・黒色土器・瓦器・陶 磁器・瓦	中尾智行		
H20.4.2～ H20.7.31	2,649,150	0	縄文時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・溝・土器廃棄土坑・集石土坑・ ピット・落ち込み 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦 器・瓦質土器・陶磁器・石器・ガラス玉 鏝型・移動式竈・木製品	森屋美佐子		
H20.9.1～ H21.12.28	93,052,050	3,000			橋本哲	中尾智行	平成20～21年度

(2) 主な調査の概要

a. 京阪調査事務所

11. 上の山遺跡 08-1〔調査〕

平成 15 年から 16 年度にかけて調査を行った際の未調査区で、現在の「東高野街道」と呼称される部分にあたる。調査の結果、道路遺構の初現が中世以前に求められることが確認できた。さらに、現在のように路盤を台形状に盛土を行った構造をもつようになるのは近世（18 世紀）になってからであることも判明した。

なお、既往の調査で検出された弥生時代や古墳時代の遺構については後世の削平により検出されなかった。

12. 上私部遺跡 08-1〔調査・整理〕

調査区は、道路建設予定地の北側にあたる。東側調査区では、中世溝のほか、古代初頭の竪穴住居を 1 棟検出した。西側調査区では、古墳時代後期～古代初頭の掘立柱建物を新たに 8 棟検出した。このうち 5 間×4 間を測る建物は集落内でも大型の部類に含まれる。今回の調査により、上私部遺跡の集落が、時代が下がるにつれてより北側へ拡大することが明らかとなった。

13. 有池遺跡 07-1・上私部遺跡 07-2〔調査・整理〕

有池遺跡、上私部遺跡ともに、既往の調査が及ばなかった範囲の調査である。有池遺跡では、これまで確認されていた中世集落の居住域がさらに広がることを追認した。また豪族居館をめぐる大溝の一端を検出し、周辺遺構との切り合い関係を明確に捉えた。上私部遺跡では、既往の調査に加えて、古墳時代後期～古代初頭の竪穴住居 6 棟を新たに検出し、掘立柱建物 3 棟を復元した。

15. 私部南遺跡 06－1〔整理〕

総延長 700 m 余におよぶ調査区の西側約 3 分の 1 に相当する地区の遺構と遺物を整理対象とした。その結果、縄文時代では北白川 C 式最終末段階を考える上で非常に有為な資料を抽出するとともに、古墳時代では掘立柱建物群の時期を特定する作業を行った。飛鳥時代以降では新たに円面硯や猿面硯各 1 点のほか、「大」と記された墨書土器を抽出するなど新知見が得られ、遺跡の性格を考える上で貴重な資料を得た。

16. 私部南遺跡 07－1〔調査〕

私部南遺跡 07－1 は第二京阪道路建設に伴う発掘調査で、平成 19 年 11 月から現地調査に着手している。調査区内には大きく南東から北西へ延びる谷が 2 本あり、谷と谷との間の平坦面で 5 世紀前葉の竪穴建物を 2 棟検出している他、6 世紀の竪穴建物や鎌倉時代の掘立柱建物などを数棟検出している。また、低い谷の部分では、初期須恵器を含む須恵器片や、椅子の側板などの木製品も出土している。

17. 津田遺跡 08-2〔調査〕

現地は生駒山地の斜面で、近年まで棚田として利用されていた。第 1 面では、鎌倉時代の青磁椀 2 個・青磁皿 3 個・短刀（巻頭カラー写真）などを伴う墓や、台石と小規模な炉をもつ工房を、室町時代から近世初頭にかけては宗教施設と推定される礎石建物群や、西を向いて南北に 4 体（ほかに 2 体出土）並ぶ阿弥陀石仏などを調査した。今後、平安時代や奈良時代の遺構面も調査する。

18. 津田遺跡 08－1〔調査・整理〕

調査地は生駒山系西麓に形成された扇状地の扇頂部付近に位置する。周辺一帯の字名は「エンズ」とされ、この名はかつてこの地に存在したという円通寺に由来するという。調査の結果、中世後半段階以降、円通川の流路を変えながら耕地の確保を行ってきた状況を確認するとともに、出土遺物の中に奈良時代の土器や瓦、中世末期の五輪塔の空風輪が含まれていたことから、付近に寺院関連遺構の存在を推定せしめた。

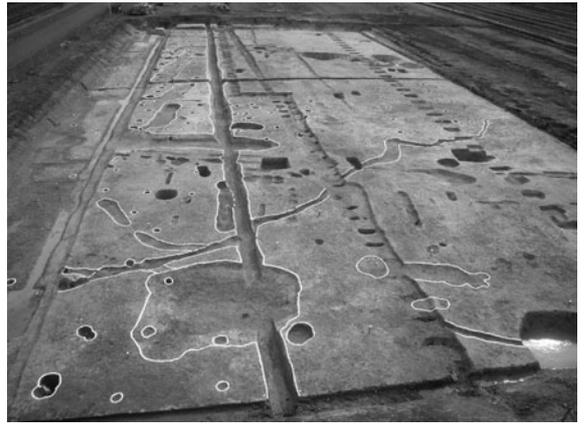
b. 中部調査事務所

20. 吹田操車場遺跡 07-1〔調査〕

本年度の調査は、遺跡全域の中で南西端部に当たる。主に掘立柱建物、溝、土坑等で構成される平安時代の集落跡を検出した。これらの遺構の分布から考え、100m程の間隔をあけ、大きく東西2つの集落域に分かれる。

土師器皿・羽釜、須恵器甕、黒色土器椀、緑釉椀、灰釉椀、鞆羽口等の遺物が出土している。いずれの集落域も、10世紀代に存続したと考える。

他に弥生時代中期後半の土坑、古墳時代後期の溝、中世以降の耕作跡等を検出している。



20. 第6地区南部 全景（東から）

24. 玉櫛遺跡 06-1〔整理〕

玉櫛遺跡は、茨木市玉櫛に所在する。平成18年度、府営茨木玉櫛住宅（建て替え）建設工事に伴い、発掘調査を実施した。翌平成19年度には、引き続き遺物整理事業を行った。平成20年度は、報告書を印刷、『財団法人大阪府文化財センター調査報告書 第184集 玉櫛遺跡Ⅲ』として、刊行した。大阪府下初例となる6世紀中葉の木製鞍をはじめ、10世紀の条里型水田、11～15世紀の集落等の調査成果を掲載している。

25. 新上小阪遺跡 08-1〔調査〕

府営住宅建て替え工事に伴う調査である。第3面では掘立柱建物など古代から中世の遺構を多数検出した。出土遺物の中には古代の硯や瓦などが多く含まれており、周辺にこの時期の役所などの重要な施設、あるいは寺院などの存在を推測させる。第5面では弥生時代中期後半の方形周溝墓を検出した。当遺跡内での墓域の発見は初である。周溝からは体部下半に穿孔のある供献土器が多数見つかった。

26. 山賀遺跡 08-1〔調査・整理〕

寝屋川水系改良事業（一級河川寝屋川 新家調節池）に伴う調査であり、調査地は八尾市新家町5丁目に位置する。調査では、弥生時代前期から中世に至る約11面の遺構面を確認した。弥生時代前期から中期にかけては、柱根の残る建物址や大量の剥片を伴う石器製作跡等を、弥生時代後期では後世の洪水砂に覆われて良好に残存する水田跡を検出した。上記の建物内に堆積する炭層からは、動物や魚類の骨、炭化米等が出土しており、当時の人々の生活を知る上で貴重な資料となった。



26. 弥生時代後期の水田跡

28. 植松遺跡 08-1〔調査〕

植松遺跡では、合計3箇所の調査区のうち、東半部に位置する第1調査区（貯留槽部）の調査を行い、古代末期から中世末期にいたるまでの遺構面を検出した。このうち、旧平野川の氾濫堆積を基盤層とする中世初頭遺構面では、水田開発に伴うと推測される格子状に延びる溝を確認した。また中世末期遺構面では、坪境とみられる大畦を検出し、当該地点における条里地割の方向性を追認することができた。

29. 池島・福万寺遺跡 06-1〔調査〕

平成18年度から継続して実施している恩智川治水緑地建設に伴う調査である。最終年度であり、弥生時代前期の調査を行った。前期後半に厚い洪水砂をもたらした流路を検出し、ここから荒い土砂により埋没する大

型・完形の壺・甕が並んで出土した。前者は肩部が朱彩され、後者は煮炊きの炭化物が厚く付着する。流路に関係するなんらかの祭祀が行われた痕跡であると考えられる。当調査区は堆積活動の活発な場所で積極的に利用されていないが、祭祀などの活動が行われた場所であったと考えられる。

30. 池島・福万寺遺跡 06 - 2 [調査]

平成 18 年度から 20 年度にかけて実施した恩智川治水緑地建設に伴う調査である。近世から縄文時代晩期の各遺構面を調査した。近世の面では水田域と島畠を、中世前半の面では条里型地割に伴う坪境や水田畦畔などを検出した。古墳時代の面では、調査区西側で検出した水田域において小形仿製鏡が出土した。弥生時代の遺構面では、後期、中期中葉、中期初頭、前期の各時期の面で水田域を検出したほか、中期初頭の面において、調査区東側の東西幅 10 数mの微高地で、集落の一部と考えられる遺構群を検出した。



29. 弥生時代前期後半の流路から出土した土器

31. 池島・福万寺遺跡 07 - 1 [調査]

今年度の調査では、主に古代から中世の条里型地割にもとづく水田・畠跡を調査した。その中では、中世末の水田畦畔脇からイヌを埋めた土坑が検出されたこと、また坪境交差点付近から検出された溝から、銭貨 51 枚が出土したことが注目される。

また、当遺跡の現地表に見られる条里型地割の初現に関して、従来から考えられていた 10 世紀前半よりも遡る可能性のあることも判明した。



31. 坪境交差点付近に埋納された銭貨

32. 池島・福万寺遺跡 05 - 1 [整理]

本調査地は、恩智川治水緑地建設に伴う調査の福万寺Ⅱ期地区の南東部に位置する。弥生時代から近世まで連綿と続く耕作地で、弥生時代後期末～古墳時代に調査地の一部が居住域となっていた。平成 19 年度の整理作業に引き続き、挿図のトレース、挿図・写真図版のレイアウトや原稿執筆、編集作業を行い、12 月に『池島・福万寺遺跡 6』として報告書を刊行した。

33. 池島・福万寺遺跡 07-2 [調査]

調査地はⅡ期地区の南西部に位置し、前年度から継続して調査を実施している。

中世の遺構面では畠、島畠、水田といった耕作地の利用の変遷が明らかになった。古代の遺構面では南北方向に直線的に延びる溝を検出し、旧地割との関連が考えられる。

古墳時代後期～飛鳥時代の遺構面では、微高地上でピットや土坑を検出した。建物等は復元できず、集落縁辺部と考えられる。低地部分では水田を検出した。古墳時代前期では土坑、落ち込みを検出した。



33. 古墳時代前期の土坑 遺物出土状況

34. 池島・福万寺遺跡 05 - 2 [整理]

平成 17～19 年度に実施した、恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査について遺物整理事業を行った。調査

では近世～中世の水田や島島、古墳時代の溝や水田畦畔、弥生時代中期後半・中期初頭・前期中頃の各時期の水田などが検出された。遺物については、古代の土坑から出土した「冨」を墨書した土師器や、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけて形成された2基の土器溜りから比較的多量に出土した、遺存状態の良好な突帯文土器、弥生土器が注目される。これらの成果を集約し、報告書を『池島・福万寺遺跡7』として平成20年12月に刊行した。

35. 池島・福万寺遺跡 08-1〔調査〕

一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査で、調査地は福万寺Ⅱ期地区の南西部に位置する。本年度は機械掘削および近世面の調査を実施したが、各所に後世の攪乱があり、遺構の残りは決して良好とはいえない。調査の結果、坪境畦畔や耕作面などを検出し、陶器・磁器・瓦片・貨銭などが出土した。

37. 池島・福万寺遺跡 08-2〔調査〕

一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査で、調査地は池島Ⅱ期地区の南西部にあたる。平成20(2008)年11月より現地調査を開始した。当調査区は河内郡字河十五ノ坪と二十二ノ坪に位置する。本年度は近世および中世後半の面まで調査が及んだ。結果、坪境畦畔と溝、島島、水田面、足跡などを検出した。島島は十五ノ坪では南北方向を、二十二ノ坪では東西方向を指向する。遺物は陶器・磁器・瓦片・貨銭などが出土した。

38. 池島・福万寺遺跡 06-2〔整理〕

本調査地は、恩智川治水緑地建設に伴う調査の池島Ⅱ期地区の中央東部に位置する。古墳時代以降は、各時期の人為的行為によって大きく削平を受けており遺存状況が悪かったが、古墳時代の水田部分と考えられる位置から小形仿製鏡が見つかった。又、弥生時代前期末から中期初頭の第13面で、集落域と考えられる遺構群が確認された。今年度の整理作業は、遺物の実測、遺構図面の整理、報告書刊行に向けての本文執筆を行った。

39. 禁野本町遺跡 08-1〔確認〕

「枚方合同宿舍整備事業」の第Ⅰ・Ⅱ期工事範囲に関わる確認調査である。事業予定地内に8箇所のトレンチを設定し、土層断面の確認、地山面の深さ確認を主体に調査をおこなった。全域にわたって、現在の団地建設時の造成による盛土が1m以上あったが、調査対象地南部で、旧日本陸軍禁野弾薬庫に関わる整地層や包含層(時期は未確定)が、比較的良好に残存していることが確認された。

c. 南部調査事務所

40. 三宅西遺跡 04-2・04-3・07-1・07-2〔整理〕

一般府道住吉八尾線建設に伴う調査で、引き続き整理作業をおこない、報告書を刊行した。

東半部では、竪穴住居や掘立柱建物などがまとまっており、弥生時代中期前葉を主体とする集落を確認した。サヌカイトやチップが多く出土しているため、石器製作に関わる集落と考えられ、接合する剥片が多いことが特徴的である。西半部では、古墳時代を主体とする集落遺構を確認した。木材を組んだ水利施設が検出された流路からは、須恵器や土師器と共に百済地域より持込まれた可能性がある瓶形土器など、5世紀代を中心とする遺物が多く出土した。この他、松原市域では最古級となる、縄文時代後期前葉～中葉の北白川上層式3期に属する縄文土器が大量にみつかった。保存状態が極めて良好なこと、型式幅が限定された一括資料であることなどから、今後は当該期の基準資料となることが期待される。縄文土器に付着した炭化物の年代測定により、今から約3600～3700年前という結果を得ている。

42. 池内遺跡 08-1〔調査〕

松原市天美北に所在する。2005～2006年度の調査で検出した半町規模の区画内に形成される平安時代後期の屋敷地の延長を確認したほか、弥生時代前期の二重に巡る環濠の延長を確認している。平安時代集落の調査では、区画溝の南限と考えられる溝を検出し、掘立柱建物5棟を検出したほか、人骨一体分を埋葬した土坑墓を検出している。

43. 池内遺跡 05-1〔整理〕

2007年度から整理を開始し2008年度に完了した。当遺跡では、旧石器時代のサヌカイト剥片、弥生時代前期、中期、後期の土器、古墳時代前期、中期、後期の土器、奈良・平安時代の土器、中世・近世の土器が出土した。弥生時代前期～後期、古墳時代前期～後期の土坑、奈良・平安時代の掘立柱建物、溝、中世の掘立柱建物、溝、近世の耕作痕などの遺構を整理し報告書を作成した。

45. 池内遺跡 07-1〔整理〕

平成19年度に調査を実施し、池内遺跡05-1とあわせて2008年度に整理を行った。当遺跡では、旧石器時代のサヌカイト剥片、弥生時代前期の土器、後期の土器、古墳時代前期、中期、後期の土器、奈良・平安時代の土器、中世の土器、近世の土器が出土した。弥生時代前期、後期、古墳時代前期の土坑、奈良時代の掘立柱建物、耕作痕、中世・近世の溝、耕作痕などの遺構を整理し報告書を作成した。

46. 下池田遺跡 07-1〔調査・整理〕

遺跡は、岸和田市下池田町に所在する。昨年度に引き続き調査を行い、その後整理作業を行った。昨年度調査で検出された、弥生時代後期～庄内式併行期の溝延長部分の調査では、多量の土器と共に、1点の銅鏃が出土した。整理作業では、特にこの溝から出土した多数の破片も含めた土器を活かすために、計量的分析を行った。また、遺物洗浄の結果、2点の絵画土器の出土も確認できた。なお、粘土採掘坑底より出土した枕木付レールは、弥生文化博物館で開催された夏季企画展鉄道発掘物語に出品した。

47. 大和川今池遺跡 07-1〔調査〕

昨年度に引き続き調査を行った。昨年度の「難波大道」の続きや、平安時代から近世の耕地区画を検出した。大和川現堤防下では、「難波大道」の盛り土が削り残されていた坪境畦畔の当初の形態を明らかにできた他、大和川付け替えまでの耕地の変遷も把握できた。現今井戸川沿いでは、大和川付け替え時に作られた旧落堀川の肩部の形態も確認できた。

48. 大和川今池遺跡 07-1〔整理〕

調査終了後、2月より報告書作成に向けて整理作業を開始した。全ての出土遺物を観察した結果、「難波大道」は遺構・上下包含層の遺物から、造成時期が7世紀中葉である事と、その後浸蝕を受けた状態で10世紀頃条里制地割りの施行により破壊された事が判明した。報告書は平成21年度7月に刊行予定である。

51. 船橋遺跡 07-1〔整理〕

柏原市大正に所在する。飛鳥時代の遺構面で掘立柱建物・柵列・溝・土坑からなる居住域を検出した。掘立柱建物は規模が13.4×3.8mを測る大規模なものが認められ、集落の性格を考える上で重要な成果を得ることができた。遺物は、平面円形のガラス小玉鋳型や用途不明土製品、同心円タタキを施す移動式竈、飛鳥Ⅱ期を中心とした土師器・須恵器がまとまって出土している。報告書刊行に向けての本文執筆・編集を行った。

(3) 保存処理事業

平成 20 年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	大型木製品	整理・点検	2,000 点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	500 点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	288 点
久宝寺遺跡	木製品	整理・点検	160 点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD 処理	327 点
茄子作遺跡	木製品	PEG-FD 処理	120 点
巢本遺跡	木製品	PEG-FD 処理	123 点
大坂城Ⅲ遺跡	大型木製品	PEG-FD 処理	10,000 点
植松遺跡	木製品	PEG-FD 処理	32 点
新上小阪遺跡	木製品	PEG-FD 処理	50 点
花屋敷遺跡	木製品	PEG-FD 処理	125 点
奥山遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	188 点
讃良郡条里遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	62 点
巢本遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	24 点
池内遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	10 点
讃良郡条里遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 20 箱
新上小阪遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
吹田操車場遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 20 箱
池島福万寺遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 20 箱
池内遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 1 箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 100 点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

(4) 現地説明会等

平成 20 年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施年月日	内容	対象者	場所	参加人数
平成 20 年 5 月 24 日	大和川今池遺跡現地説明会	一般	大和川今池 07-1(その2)	289
平成 20 年 7 月 6 日	吹田操車場遺跡現地公開	一般	吹田操車場 07-1	107
平成 20 年 10 月 12 日	吹田操車場現地説明会	一般	吹田操車場 07-1	86
平成 20 年 11 月 29 日	津田遺跡現地公開	地元	津田遺跡 08-1 (その3)	227
平成 21 年 2 月 21 日	津田遺跡現地公開	地元、関係機関	津田遺跡 08-2 (その4)	215

計 924 名

津田遺跡 08-2 現地公開

鎌倉時代の小鍛冶工房、室町時代の石仏列、室町時代から近世初頭にかけての礎石建物が出土したので、平成 21 年 2 月 21 日（土）午後、現地公開を開催した。

遺物展示と現場説明を随時行い、見学者からも様々なご意見・ご教示を賜った。アンケートでは、満足 88%、普通 11%、無回答 1% との評価を頂いた。見学者は 215 人であった。

4. 普及啓発事業

A. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等の受け入れ

実施年月日	内容	対象者	場所	参加人数
平成20年7月28日-8月1日	夏季集中講座「考古学入門」	大阪府立今宮高校2年生	池島支所・福万寺地区その7	6
平成20年10月16日	平成20年度古代史研修	和光高校2年生	池島地区その8 福万寺地区その7	25
平成20年11月18-19日	平成20年度職業体験学習「かん働体験」	東大阪市立石切中学校2年生	池島地区その8・その10 福万寺地区その7	16
平成20年12月9日	平成20年度大手前高校集中セミナー「考古学入門」	大手前高校1・2年生	福万寺地区その7	13
平成20年12月9日-10日	「職業体験学習」	東大阪市立池島中学校2年生	池島地区その10 福万寺地区その7	11
平成21年3月17日	「考古学入門」	大阪府立千里青雲高校2年生	池島地区その8・その10	3

計 74名

池島・福万寺遺跡（07-1・2）において、大阪府立今宮高校が夏季休暇を利用して実施する集中講座「考古学入門」の生徒を受け入れた。参加者は2年生の生徒6名と、引率教師2名を加えた8名である。実施期間は5日に及ぶため、オリエンテーションの後、遺跡や考古学に関する講義や、発掘調査、整理業務をできるだけメニューに織り込んだ。現場ではジョレンを用いて遺構検出を行い、足跡の掘削、また平板測量、断面実測図作成などの業務をこなした。



平板測量をする生徒たち

また内業では整理業務の基本として遺物接合、拓本、種子選別等の作業を実習した。生徒の体験レポートをみると全体に満足度が高く、特に足跡掘りや拓本が好評だった。参加した生徒たちは、考古学の実際の現場とはどんなものか、イメージを超えて体感してくれたようである。

(2) 発掘現場等の見学の受け入れ

① JICA（ジャイカ）現地見学会

平成20年9月10日

場所：津田遺跡

参加者数：11名

国土交通省主催によるJICA（ジャイカ）アフリカ地域道路維持管理技術研修の一環として、第二京阪道路視察工程の中に遺跡発掘調査現場視察が計画され、その実地地として津田遺跡08-1区が選ばれた。参加者はリベリア・セネガル・ニジェール・ガーナ・ギニアからの研修生8名、通訳・コーディネーター3名の計11名である。現場担当者が調査中の現場と出土遺物の解説を行い、石造建築物の多いアフリカやヨーロッパの遺跡と、木造

建築物の多い日本の遺跡との遺構の残存状況の相違などについて通訳を介して説明し、研修生8名のうち6名から「理解できた」との回答を得た。

②関西考古学の日

平成20年10月1日～31日

場 所：池島・福万寺遺跡

参加者数：7名



挙手をして理解度を確認している様子

B. 文化財資料収集事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成20年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	682冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	2,614冊
計	3,296冊
累計	73,828冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計73,828レコード。

③ 発掘調査資料の管理を行った。

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

(2) 文化財情報のデジタル化

今年度、文化財情報のデジタル化事業については実施していない。

C. 文化財資料提供事業

(1) インターネット及び報道機関を通じての情報の提供

ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(2) 資料の出品、写真資料、ビデオなどの貸出

①資料の出品

平成20年度常設展示貸出し資料一覧

番号	貸出先	展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J07-01	大阪府立弥生文化博物館 (移動記録)	弥生文化博物館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	新家：1, 瓜生堂：2, 巨摩：6, 山賀：6, 亀井北：1, 亀井：26, 田山：47, 西大路：5, 脇浜：12, 貝掛：9	実物115
J07-02	大阪府立近つ飛鳥博物館 (移動記録)	近つ飛鳥博物館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	久宝寺：6, 美園：6, 小阪：40, 日置荘：2	実物54
J07-03	大阪府教育委員会 文化財保護課	泉北考古資料館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	伏尾：家形埴輪1, 野々井西：弥生土器4/石器11/全景写真1, 陶邑関連パネル4	実物16 写真5
J07-04	和泉市教育委員会	和泉市いずみの国歴史館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	福瀬：墨書皿(寺)1/木製弓2/下駄2/匏台1/桶底板1/椀1/雁股式有茎鍬1/小刀1, 仏並：縄文土器(鉢)1/縄文土器(深鉢)1/土面レプリカ1/パネル2, 池田寺：縄文土器(深鉢)1/文字瓦(池田・堂)2	実物16 パネル2
J07-05	泉佐野市立歴史館いずみさの	歴史館いずみさの 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	上町東：白磁椀2, 若宮：檀波羅密寺銘平瓦8, 日置荘：鉄瓶1	実物11
J07-06	大阪府立狭山池博物館	狭山池博物館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	城山：韓式土器5, 日置荘：青磁碗1	実物6
J07-07	吹田市立博物館	吹田市立博物館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	吹田操車場：須恵器大型甕1	実物1
J07-08	堺市博物館	堺市立みはら歴史博物館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	真福寺：梵鐘鑄造遺構切り取り1	実物1
J07-09	堺市博物館	堺市立みはら歴史博物館 常設展示	H19.4.1 ~ H20.3.31	真福寺：梵鐘鑄型等8/鑄型(外型)用途不明1/鑄型(外型)磬1/瓦器椀2/東播系こね鉢1/土師器羽釜1/鑄型(外型)鍋2/韃羽口2/円面硯1, 余部：磬鑄型2/釜鑄型1, 太井：韃羽口2/統一新羅印花文陶器1/延喜通寶3/埴塙4/韃羽口2/須恵器高杯1/丸竈1, さば山古墳：円筒埴輪2/朝顔形埴輪	実物41
J07-10	独立行政法人都市再生機構西日本支社	サンヴァリエ藤井寺集会所 展示コーナー	H19.4.1 ~ H20.3.31	はざみ山：土師器甕1/土師器杯2/土師器把手付壺1/須恵器杯身3/須恵器杯蓋2/須恵器平瓶1/須恵器ハカ2/須恵器高杯3/須恵器高杯蓋1/瓦器椀3/瓦器小皿2/瓦器小型椀1/黒色土器椀2/土師器小皿3/国府型ナイフ形石器3/有茎尖頭器1/石鍬2/凹石1/叩石3/砥石5/韃羽口5/須恵器紡錘車2/須恵器添容器5/須恵器蹄脚円面硯2/圈足円面	実物57
総点数					329点

平成20年度貸出し資料一覧

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M08-01	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成20年度春の展示「近つ飛鳥と渡来人」	H20. 4. 15 ~ H20. 7末	伏尾:土師器長胴甕1/土師器甕1/土師器かまど1	3
M08-02	柏原市立歴史資料館	企画展「裴世清の見た風景」	H20. 7. 9 ~ H20. 9. 19	佐堂:土師器杯5/土師器小型壺1、美園:須恵器坏蓋2/須恵器坏身2/須恵器壺1/平瓶1/土馬1/小型土器2/小型高坏	16
			H20. 5. 22 ~ H20. 7. 18	美園:EトレンチFNR401土層断面(カウ)	1
M08-03	財団法人 元興寺文化財研究所	「発掘された日本列島2008展」	H20. 7. 9 ~ H20. 3末	マネキン(木箱を含む)縄文・弥生・古墳/衣装(縄文・古墳)/装飾品など一式	5
M08-04	滋賀県立安土城考古博物館	企画展「古代地方木簡の世紀-文字資料から見た古代の近江-」	H20. 7. 8 ~ H20. 9月上旬	難波宮:1号木簡/2号木簡/11号木簡	3
M08-05	備前市歴史民俗資料館	平成20年度企画展「備前の徳利、海の道をゆく」	H20. 8月上旬 ~ N20. 10月下旬	大坂城址Ⅲ:鉢(備前)1/水盤状製品(備前)1/徳利(備前)2/向付(唐津)1/角向付(志野)1/向付(志野織部)1/水指(伊賀信楽)1	8
			H20. 7月中旬 ~ H20. 9月中旬	大坂城址Ⅲ:大坂城遠景(西から)/調査地周辺航空写真/堀83土層断面(北東から)/堀83出土の土器・陶磁器	5
M08-06	九州大学総合研究博物館	平成20年度公開展示「奴国の南-九州大学筑紫地区の埋蔵文化財-」	H20. 12. 15 ~ H21. 2. 20	日置荘:叩板(図IV-104-2)1	1
M08-07	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成20年度夏季企画展「ぼくらのアイテム」	H20. 7. 24 ~ H20. 10. 3	粟生間谷:ナイフ形石器7/角錘状石器1/円形搔器1/搔器1/削器5/敲石1/剥片2/石核1/接合資料2、亀井(その2):不定形刃器3、亀井北:不定形刃器3、久宝寺南:不定形刃物器1/敲石1、大坂城:包丁2、城山:大型蛤刃石斧2、亀井:大型蛤刃石斧1/縦斧1/鹿角製ハンマー1、久宝寺:鉄斧1/鉄鎌1、亀井北:敲石1、瓜生堂:横槌1/柱状片刃石斧1/扁平面刃斧1、巨摩:柱状片刃石斧1/木包丁2、久宝寺北:扁平面刃斧2/石包丁3、若江北:斧柄、西岩田:斧柄2/木鎌1、亀井・城山:鹿角装刀子1/木製鋤1/鉄鎌1、難波宮:11号木簡/1号木簡、山賀:石錐6、大坂城:鉄錐3/鉄鎌3/掛矢1、亀井:木製広鋸1/大型石包丁1、城山:大型石包丁1/石包丁3、亀井(その2):石包丁2	78
M08-08	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成20年度夏季企画展「鉄道発掘物語」	H20. 7. 18 ~ H20. 10月	金野本町:犬釘9/継ぎ目板6/枕木5/レール3/真鍮製葉莢2/鉛製小銃弾頭1/九二式十五糎榴弾1/型式不明信管?2/八八式瞬発信管1/レング4/真鍮製薬筒1	52
			H20. 8. 23 ~ H20. 10月	久宝寺:汽車土瓶1/イギリス製陶器1/湯呑み1、吹田操車場:「萩の家」と描かれた蓋1/「下之関」銘汽車土瓶1/「ひめじ」銘汽車土瓶1/「NORITAKE」銘陶器1/道輪マークがある重箱2/ガラス瓶1、下池田:レール1式	
			H20. 10. 16 ~	吹田操車場:ガラス瓶4/道輪マークのある磁器1	
M08-09	大阪府立弥生文化博物館(移動)	スポット展示「大阪の縄文時代-小阪遺跡-(仮称)」	H20. 7. 26 ~ H20. 8. 10	小阪:縄文土器10	10
M08-10	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	スポット展示「初期須恵器の高坏形器台-形と紋様のあれこれ-」	H20. 8. 11 ~ H20. 9. 3	有池:器台坏部2/上私部:器台坏部1/茄子作:器台1、勝部:器台坏部1/田井中:器台1、溝咋:器台坏・脚、池島・福万寺:器台1	8

M08-11	八尾市歴史民俗資料館指定管理者 財団法人 八尾市文化財調査研究会	市制60周年記念特別展「八尾の渡来文化」	H20. 9. 22 ~ H20. 12. 19	大庭寺:船形土器1/杯1/コップ形土器1/高杯2/取っ手付高杯1/筒形器台1/高杯形器台1、久宝寺:準構造船(レプリカ)1/準構造船(模型)1	10
			20. 8月許可後 ~ H20. 10. 20	大庭寺:船形の須恵器/TG232号窯出土須恵器集合写真/TG232号窯灰原、久宝寺:準構造船(レプリカ)/復元準構造船(模型)/準構造船出土状況(カ)	6
M08-12	四条畷市教育委員会	平成20年度特別展「ひとつぶの粉-近畿地方最古の弥生土器を中心に-」	H20. 9. 24 ~ H20. 12. 19	讚良郡:石包丁2/凹石1/縄文土器鉢1/石英(白色)2/石錐1/石鏃1/石棒2/砥石?1/土錘1/突帯文土器5/弥生土器壺6/弥生土器焼成破裂土器片2/弥生土器高杯1/弥生土器壺4/弥生土器鉢3/弥生土器蓋1/両刃石斧1/弥生土器ミニチュア土器1/弥生土器壺3/粘土塊/弥生土器焼成破損1種1/縄文土器鉢1/浮線網状文土器1/突帯文土器鉢1	45
			H20. 8. 25 ~ H20. 10. 10	讚良郡:讚良03-6航空斜め写真/建物22/6-122土坑(東から)/6-122土坑出土漆塗膜アップ/6-124土坑出土状況/3-267・268溝完堀状況・作業員入り・土器群2上部出土状況・土器群2下部出土状況/6-143土坑完堀状況/3-279井戸断面/6-143土坑炭火米実体顕微鏡写真/出土炭火米/木製剝物/浮線文土器/出土遺物集合/単品写真19点	37
M08-13	大阪府教育委員会	府立泉北考古資料館 常説展示	H19. 12中旬 ~ H20. 3. 31	大庭寺:TG231窯跡須恵器高杯1/須恵器脚台付鉢1/須恵器はそう1、TG232号窯跡須恵器杯1/須恵器はそう1	5
M08-14	太子町教育委員会	平成20年度企画展「変貌するサカサマ〜その隆盛と終焉〜」	H20. 9月中旬 ~ H20. 12月中旬	粟生間谷:ナイフ形石器12/角錐状石器1/円形搔器1/ノッチ1/楔形石器1/加工ある剥片1/剥片6/石核3/接合資料5/敲石1/有舌尖頭器3/尖頭器2/石鏃4/石匙2/削器1/石錐1、山賀:打製石剣2、亀井:打製石剣2、美園:打製石剣1、志紀:打製石剣1、太井:有舌尖頭器3、河原城:接合資料4/石鏃2/削器1、向出:縄文土器深鉢6/石鏃5/石錐3/石鏃未成品5/削器3/石斧2/楔形石器2/石棒2/石剣1	91
			H20. 9月初旬 ~ H. 20. 12月中旬	粟生間谷:粟生間谷遺跡近景1/粟生間谷遺跡出土主要石器1/ブロック6出土主要石器1、河原城:トレンチ黒色粘土層内出土石器1/黒色粘土層内石器出土状況石器集中部2、向出:立ったまま出土した石棒1/宮滝式土器1/4-5区付近1	8
M08-15	奈良県立橿原考古学研究所	秋季特別展「宮都飛鳥」	H20. 9. 16 ~ H20. 12. 19	難波宮:/2号木簡(支多比)/11号木簡(戊申年)	2
M08-16	大阪芸術大学 映像学科	産学協同ドラマ「ブロードキャスト ASUKA」Episode1の小道具	H20. 9. 9 ~ H20. 9. 16	発掘用品:平板1/アリゲードセット1/平板脚1/ポール1/ピンポール5/画板2/コンテナ10/遺物ラベル1/ヘルメット6/箱尺1/テパチ3/テガリ4/バスケット8	44
M08-17	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成20年度秋季特別展「考古学からみた古代の女性-巫女王卑弥呼の残影-」	H20. 9. 2 ~ H20. 10. 22	池島・福万寺:石棒集合1カット/土偶	2
M08-18	堺市人権ふれあいセンター	企画展「シリーズ 食肉その2 いのちをたべる〜肉食の歴史〜」	H20. 10. 24 ~ H21. 5. 10	城山:解体痕のあるウマの骨1、亀井:解体痕のあるシカの骨	2

M08-19	尼崎市教育委員会	第38回尼崎市立田能資料館特別展「弥生の技」	H20. 11. 4 ~ H20. 12. 18	若江北:水田出土土器4、山賀:石包丁1/扁平片刃石斧1/鋤1/斧の柄1、美園:大型蛤刃石斧1/扁平片刃石斧1、瓜生堂:銅戈石製鑄型1、巨摩:ガラス勾玉12、西岩田:斧の柄1、亀井:銅鏃2/鉄鏃1	28
			H20. 10. 15 ~ H20. 11. 14	巨摩:ガラス小玉、池島・福万寺:灌漑施設/水田遺構、池内:水田遺構	4
M08-20	大阪市立自然史博物館	平成20年度特別展「地震展2008」	H20. 10. 15 ~ H20. 12. 19	池島・福万寺:地震痕はぎ取り資料	2
M08-21	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成20年度冬季企画展「倭人がみた龍-龍の絵とかたち-」	H21. 1. 7 ~ H21. 3月	八尾南:絵画土器2、亀田:絵画土器1	3
M08-22	大阪府立弥生文化博物館(移動)	大阪府立泉大津高校出前授業	H20. 11. 19 ~ H20. 11. 26	禁野本町:九二式十五糎榴弾1/真鍮製薬莢3/真鍮製薬筒2/砲弾破片2	8
M08-23	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成20年度冬季特別展「百舌鳥・古市大古墳群展~巨大古墳の時代~」	H20. 12. 24 ~ H21. 3. 31	大庭寺: TG232号窯須恵器4/須恵器集合写真、讃良郡条里:木製鞍1	6
M08-24	関西縄文文化研究会	第9回研究集会「関西の縄文中期末土器」	H20. 12. 10 ~ H20. 12. 17	小阪:縄文土器47	47
M08-25	長野県立歴史館	企画展「善光寺信仰-流転と遍歴の勸化-」	H21. 3. 3 ~ H21. 6. 30	大庭寺:船形須恵器1	1
				大庭寺:船形須恵器(カラー)	1
M08-26	堺市博物館	企画展「陶磁器は海をわたって-堺の出土品から見た朱印船貿易-」	H20. 12月 中頃 ~ 平成21. 3月 初旬	堺環濠都市:ベトナム製陶器五耳壺1/タイ製陶器鉄絵突鉢1	2
総合計					544

②写真資料の貸出し

平成20年度写真貸出し・掲載許可申請

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P08-01	株式会社 新人物往来社	H20. 4. 11	『別冊歴史読本 大化の改新と古代国家誕生』	難波宮跡:木簡(戊申年)	カラー×1	1
P08-02	信濃毎日新聞社	H20. 5. 5	『北信濃・柳沢遺跡の銅戈・銅鐸』(仮題)	下田:銅鐸出土状況	カラー×1	1
P08-03	株式会社 雄山閣	H20. 5. 30	『季刊考古学』第104号	池島・福万寺:直柄又鍬・直柄平鍬、西岩田:曲柄平鍬/曲柄又鍬	モノクロ×2 カラー×1	3
P08-04	香芝市二上山博物館	H20. 6. 3	邪馬台国シンポジウム8「邪馬台国時代の摂津・河内・和泉と大和」資料集	小路:A区第3面全景(南東より)/前方後方形周溝墓(西より)/前方後方形周溝墓(南西より)/土師器壺2、久宝寺1号墳:久宝寺1号墳(西から)/仕切板検出状況、久宝寺古墳群:表紙掲載写真、久宝寺44号墳他:墳墓群の中の前方後方墳/44号墳の全景/44号墳の出土土器、久宝寺43号墳:43号墳の全景、久宝寺22号墳:22号墳の出土土器、久宝寺29・46号墳:出土した玉類		14
P08-05	滋賀県立安土城考古博物館	H20. 6. 10	第36回企画展・財団法人滋賀県文化財保護協会調査成果展「古代地方木簡の世紀～文字資料から見た古代の近江～」の図録・パンフレット・展示パネル・広報等	大坂城跡:「戊辰年」銘木簡 表・裏	カラー×2	2
P08-06	吹田市立博物館	H20. 6. 24	平成20年度夏季展示図録「千里の竹」	山賀:釜出土状況	カラー×1	1
P08-07	大韓民国釜山博物館	H20. 6. 25	博物館開館30周年記念国際交流展「韓日交流七千年展」の広報用資料・展示図録・写真パネル等	大庭寺:船形土器/TG232号窯/出土土器集合写真、野々井西:樽形ハソウ	カラー×3	3
P08-08	堺市立みはら歴史博物館	H20. 7. 4	平成20年度夏季ミニ展「みはら発掘速報」	太井:H地区全景(北東から)/井戸H-10下半部	カラー×2	2
P08-09	鳥取県埋蔵文化財センター	H20. 7. 8	『青谷上寺地遺跡フォーラム資料集』	池島・福万寺:木製高杯(実物・復元模型)	カラー×2	2
P08-10	東大阪市 英田中学校	H20. 7. 8	英田中学校50周年記念誌「校区の歴史」	花屋敷:木簡赤外線撮影写真/赤外線撮影写真	デジタルデータ	2
P08-11	阪南市教育委員会	H20. 7. 15	「向出遺跡評価検討委員会資料」	向出:ネガアルバム2/パネル1		3
P08-12	近つ飛鳥博物館(移動)	H20. 8. 18	平成20年度夏季企画展「ぼくらのアイテム」	亀井:石斧(柄付)		1
P08-13	株式会社 雄山閣	H20. 7. 22	『墓からさぐる社会』(仮名)	瓜生堂:方形周溝墓の供献土器	モノクロ×1	1
P08-14	共同通信 大阪支社	H20. 8. 1	考古学企画「戦争を掘る」	勝部:緑地調査区南半部第2面全景	カラー×1	1
P08-15	株式会社 塙書房	H20. 8. 14	古市晃著『日本古代王権の支配論理』	難波宮跡:11号木簡両面	モノクロ×2	2
P08-16	阪南市教育委員会	H20. 8. 12	将来的な保存についての議論を行うためのデータの作成と活用	向井出	データ資料	-
P08-17	奈良県立橿原考古学研究所	H20. 8. 27	特別展「宮都 飛鳥」展示パネル	難波宮跡:1号木簡(支多比)/11号木簡(戊申年)表・裏	カラー×3	3
P08-18	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	H20. 9. 11	平成20年度企画展「弥生西東-遺跡が語る人びとのくらし-」展示パネル	亀井:鐸形土製品/ト骨(イノシシ右肩甲骨)/ト骨(ニホンジカ右肩甲骨)、瓜生堂:銅戈、下田/銅鐸/銅鐸出土状況	カラー×6	6
P08-19	泉佐野市立 歴史館いずみさの	H20. 10. 2	特別展「日根荘と根来寺」・ホール展示「中世の遺跡と風景～泉南地域の荘園～」パネル展示	上町II:区画Ⅲ・Ⅶ・Ⅷ(その3)2-2地区全景/(その6)B-2地区全景南東から/6311-0A南東から/(その2)A地区全景南東から/206-00(アップ)北から/38-0S南東から	モノクロ×5 カラー×1	6
P08-20	鳥取県教育委員会事務局	H20. 10. 27	「第9回弥生文化シンポジウム予稿集」	池島・福万寺:彩色高杯/彩色高杯復元模型	カラー×2	2
P08-21	近つ飛鳥博物館(移動)		平成20年度冬季特別展「百舌鳥・古市大古墳群展」図録	大庭寺:TG232号窯跡出土須恵器	カラー×1	1

P08-22	株式会社 帝国書院	H20. 11. 11	『中学校スタンダード歴史資料 大阪府版』	大庭寺: TG232号窯跡出土須恵器	カラー×1	1
P08-23	株式会社 アドリブ	H20. 11. 12	『面白いほどよくわかる古代史』(鈴木旭著、日本文芸社刊)	八尾南: 竪穴建物9・10/ 絵画文土器	モノクロ×2	2
P08-24	株式会社 雄山閣	H20. 11. 18	『季刊考古学』第106号	蔵塚古墳: 後円部の土のう列1	カラー×1	1
P08-25	株式会社 浜島書店	H20. 12. 5	『総合歴史(中学生対象歴史資料集)』	古墳: 女性のファッション	カラー×1	1
P08-26	弥生文化博物館(移動)	H20. 12. 13	平成21年度夏季特別展「山賀: 彩文土器、亀井: 分銅形土製品」	山賀: 彩文土器、亀井: 分銅形土製品	画像データ×2	2
P08-27	鳥取県埋蔵文化財センター	H20. 12. 24	『鳥取県考古学 第5巻 古墳時代Ⅱ』	日置荘: 叩き板・当て具集合写真	カラー×1	1
P08-28	株式会社 同成社	H20. 12. 22	『弥生時代の考古学』第6巻「弥生社会のハードウェア」	八尾南: 壁材および椅子	モノクロ×2	2
P08-29	八尾市立亀井小学校	H20. 12. 26	亀井小学校創立30周年記念誌『地域とのつながり- 遠い昔(亀井の遺跡)-』	亀井: 亀井1・2号犬出土状況/1・2号方形周溝墓(西から)/1号方形周溝墓1・6号主体	カラー×3	3
P08-30	大和高田市教育委員会	H21. 1. 6	花屋敷遺跡の市民向け講演	花屋敷: 電子データ48点		48
P08-31	藤井寺市教育委員会	H21. 1. 21	ホームページ「古代からのメッセージ」	大庭寺: 須恵器/軟質土器、久宝寺: 準構造船出土状況	カラー×3	3
P08-32	株式会社 浜島書店	H21. 1. 22	『総合歴史(中学生対象歴史資料集)』	縄文時代の女性ファッション復元(正面向)	カラー×1	1
総合計						122

③ビデオの貸出し・上映一覧

平成20年度は貸出しがなかった。

(3) 図書の出版・販売

①図書の出版

平成20年度は、下記の図書を出版した。

1	吹田操車場Ⅲ遺跡(第180集)
2	船橋遺跡Ⅳ(第181集)
3	讃良郡条里遺跡Ⅶ(第182集)
4	巢本遺跡Ⅱ(第183集)
5	玉櫛遺跡Ⅲ(第184集)
6	池島・福万寺遺跡6(池島Ⅱ期05-1調査区)(第185集)
7	池島・福万寺遺跡7(池島Ⅱ期05-2調査区)(第186集)
8	讃良郡条里遺跡Ⅷ(第187集)
9	讃良郡条里遺跡Ⅸ(第188集)
10	三宅西遺跡(第189集)
11	大阪文化財研究 34号
12	年報-平成19年度-
13	加納古墳群・平石古墳群-中山間地域総合整備事業「南河内こごせ地区」に伴う発掘調査-
14	葎屋北遺跡発掘調査概要・Ⅶ
15	呉竹遺跡-布施警察署庁舎建設に伴う発掘調査-
16	林遺跡・国府遺跡・土師の里遺跡-一般国道(旧)170号及び主要地方道堺大和高田線交差点改良工事

13から17については府教委の増刷である。

② 図書の販売

平成20年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1,252冊 販売金額 2,069,364円(税込)

(4) 出版物の寄贈・配布

関係団体、行政機関、研究機関等に対して、当センターの刊行図書を寄贈配布した。

D. 文化財研究事業

(1) 「近畿ブロック埋文研修会」

第14回の平成20年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターが開催法人となり、平成20年10月24日(金)、京都市のルビノ京都堀川で開催された。

「生産の考古学」というテーマで8本の研究発表が行われた。

当センターからは18名が参加し、中尾智行が「弥生土器初現期における土器生産」、三宮昌弘が「古墳時代和泉地域の製塩遺跡の動向」と題して発表した。

(2) 第4回地球研地域セミナー「災害と「しのぎの技」—池島・福万寺遺跡が語る農業と環境の関係史—」

平成18・19年度の2カ年にわたって、池島・福万寺遺跡の現場をフィールドに提供し実施されてきた、総合地球環境学研究所佐藤プロジェクト「農業が環境を破壊するとき—ユーラシア農耕史と環境」の中間報告会が、大阪府立弥生文化博物館1階ホールで開催された。当センターはこれに共催し、センターからは、井上智博が「考古学からみる災害の痕跡」と題して池島・福万寺遺跡のこれまでの調査成果の報告を行った。当日の参加者は66名であった。

(3) 全埋協コンピューター等研究委員会及び地区委員会の参加、それに伴う業務

1. 平成20年度全埋協コンピューター等研究委員会

於：財団法人山口県ひとづくり財団 山口県埋蔵文化財センター

実施日：平成20年7月17・18日

2. 全埋協近畿地区O A委員会

第1回全埋協近畿地区O A委員会 於：枚方市市民会館 平成20年6月20日

第2回全埋協近畿地区O A委員会 於：大阪歴史博物館 平成20年11月14日

第3回全埋協近畿地区O A委員会 於：枚方市市民会館 平成21年2月13日

E. 文化財調査支援事業

センターが平成17・18年度に実施した研究助成事業に基づく報告書を編集・出版はしていない。

F. 広報事業

(1) 年報の編集と発行

Ⅲ. 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザ（最新情報コーナー）展示替

「木の本遺跡」	平成20年8月26日（火）～平成20年12月24日（水）
「倭国大乱の一断章」	平成21年1月6日（火）～

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示。

2. 特展企画展事業

(1) 春の展示「館蔵品展 もっと知りたい弥生の暮らし」

《入館者数：20,468人》

ア. 開催概要 弥生文化について、大人から子供までが理解でき、考古学により親しみを持ってもらえる展示を、当館の館蔵品を中心におこなった。

イ. 開催期間 平成20年4月10日（木）～7月13日（日） 82日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般300円（240円） 65歳以上および高校大学生200円（160円）

（ ）内は団体割引料金

オ. ワークショップ

第1回	4月26日（土）	「磨製石鏃をつくろう」	《参加者：16人》
第2回	5月3日（土祝）～6日（火祝）	「鏡をつくろう」	《参加者：91人》
第3回	6月7日（土）	「矛・鐸をつくろう」	《参加者：23人》
第4回	7月5日（土）	「貝輪をつくろう」	《参加者：46人》

定員各回20名

(2) 夏季企画展「鉄道発掘物語」

《入館者数：6,378人》

ア. 開催概要 大阪府下の「掘り出された鉄道」資料を展示し、日本の近代化に鉄道が果たした役割を紹介。また、出土品のみならず、関係諸機関の協力を得て、弁当の掛紙からおもちゃに至るまでの身近な品々や和歌山電鐵の「たま駅長」を紹介するコーナーを設けた。

イ. 開催期間 平成20年8月23日（土）～10月19日（日） 50日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般400円（320円） 65歳以上および高校大学生300円（240円）

（ ）内は団体割引料金

オ. 印 刷 物 図録「鉄道発掘物語」（平成20年8月23日発行）

カ. ワークショップ

8月30日(土)「ナンバープレートのストラップを作ろう！」	《参加者：29人》	定員20名
9月27日(土)エンジン式電車「和泉総号」に乗ろう！	《参加者：101人》	

大阪府立和泉総合高校工作部の協力を得、玄関前でエンジン式電車を走行させた。

キ. その他

10月5日(日)「鉄道模型走行デモ」

近畿大学文化会鉄道研究会の協力を得てサロンで実施した。

(3) 秋季企画展「静かなる焔めき 石田 亘・征希・知史 パート・ド・ヴェール作品展」

《入館者数：4,654人》

ア. 開催概要 「パート・ド・ヴェール」技法を用いたガラス工芸作家として有名な石田 亘氏、征希氏、知史氏の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成20年11月1日(土)～12月21日(日) 44日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)

()内は団体割引料金

オ. 印 刷 物 リーフレット「静かなる焔めき 石田 亘・征希・知史 パート・ド・ヴェール作品展」
(平成20年11月1日発行)

(4) 冬季特別展「倭人がみた龍—龍の絵とかたち」

《入館者数：5,723人》

ア. 開催概要 中国において創出された空想上の生物『龍』。倭人はどのようにして龍を知りえたのか？そして、その後人々の生活の中でどのように扱われてきたのか。龍に関するさまざまな資料を展示した。

イ. 開催期間 平成21年1月24日(土)～3月15日(日) 44日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料 一般600円(480円) 65歳以上および高校大学生400円(320円)

()内は団体割引料金

オ. 印 刷 物 図録「倭人がみた龍—龍の絵とかたち」(平成21年1月24日発行)
リーフレット「倭人がみた龍—龍の絵とかたち」(平成21年1月24日発行)

カ. 学芸員トーク

3月8日(日) 合田幸美(当館総括学芸員)

永野 仁(当館主任学芸員)

《参加者：61人》

キ. 学芸員による展示解説

会期中の日曜・祝休日におこなった。

ク. ワークショップ

第1回	1月31日(土)「龍をつくろう」	《参加者：23人》
第2回	2月14日(土)「龍をつくろう」	《参加者：20人》
第3回	3月7日(土)「龍をつくろう」	《参加者：17人》

定員各回20名

3. 講演会事業

(1) 春の展示関連

①特別講演会

4月27日(日)	「倭国女王卑弥呼と河内瀧のにぎわい」	水野正好(財団法人大阪府文化財センター理事長)	《参加者：110人》
5月6日(火祝)	「埴輪にみる芸能」	水野正好(財団法人大阪府文化財センター理事長)	《参加者：97人》
5月25日(日)	「弥生のまつり(前編)」	金関 恕(当館館長)	《参加者：82人》
7月13日(日)	「弥生のまつり(後編)」	金関 恕(当館館長)	《参加者：20人》

②その他

7月12日(土)「解説 卑弥呼の衣装」 《参加者：17人》

当館所蔵の「卑弥呼の衣装」を公募により決定したモデルに着付けながら、学芸員が衣装について解説した。

(2) 夏季企画展関連

①歴史セミナー

第1回	8月31日(日)	「汽車土瓶の考古学— 駅弁とお茶の文化史」	畑中英二(財団法人滋賀県文化財保護協会)	《参加者：35人》
第2回	9月15日(月祝)	「電車ができるまで」	平井彰一(鉄道研究同好会〔川崎重工業株式会社〕)	《参加者：65人》
第3回	9月21日(日)	「近代化遺産の魅力— 鉄道構造物を見る」	石田成年(柏原市教育委員会)	《参加者：53人》
第4回	10月12日(日)	「鉄道の考古学」	駒井正明(財団法人大阪府文化財センター)	《参加者：65人》

(3) 秋季企画展関連

①ギャラリートーク(作家による展示解説)

11月23日(日)	《参加者：65人》
12月7日(日)	《参加者：73人》

(4) 冬季特別展関連

①特別講演会

1月25日(日)「龍信仰と伝説」金関 恕(当館館長) 《参加者：165人》

②考古学セミナー

第1回	2月1日(日)	「ヒサゴ・水・龍」	辰巳和弘(同志社大学)	《参加者：154人》
第2回	2月15日(日)	「古代中国の龍の民俗」	小南一郎(龍谷大学)	《参加者：125人》
第3回	2月22日(日)	「古墳時代の金工品にみる龍文様」	千賀 久(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)	《参加者：102人》

第4回	3月15日(日)	「古代中国の画像と龍」	町田 章(奈良文化財研究所前所長)	《参加者：182人》
-----	----------	-------------	-------------------	------------

(5) 学芸員研究最前線

4月20日(日)	「近・現代の考古学」	江浦 洋(当館学芸課長)	《参加者：24人》
5月3日(土祝)	「海を渡る竜」	永野 仁(当館主任学芸員)	《参加者23人》
6月1日(日)	「人は石にこだわるのか—縄紋時代早期集石遺構の礫選択基準—」	東 徹志(当館学芸員)	《参加者：41人》
6月15日(日)	「300年間の空似—越前絵画資料と渾脱の舞の二例について—」	合田幸美(当館総括学芸員)	《参加者：30人》
6月29日(日)	「中世の石工をさぐる」	岡本智子(当館学芸員)	《参加者：39人》

(6) 弥生プラザ関連

10月25日(土)	「木の本遺跡の発掘調査の成果」	横田 明(大阪府教育委員会)	《参加者：5人》
2月28日(土)	「倭国大乱の一断章—南河内の高地性集落と東山遺跡—」	森井貞雄(大阪府教育委員会)	《参加者：45人》

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

運営委員：安井 紘雄(ヴァイオリン) 稲本 直(コンサート企画) 太田善照(社会教育) 田中寛治(社会教育)

4月13日(日)	色彩のイメージ・ピアノコンサート	《参加者：233人》	塩見貴子(ピアノ)
5月18日(日)	Heart of the earth concert	《参加者：196人》	東 佳苗(フルート) 西村奈美(ピアノ)
6月8日(日)	初夏を彩る歌の花束～愛の歌をあつめて～	《参加者：192人》	志摩友子・谷 ゆかり・外山有香(ソプラノ) 富士田ゆかり・前田郁代(ピアノ)
7月6日(日)	デュオのひとつとき	《参加者：181人》	Piano Duo 蓮：星乃加奈・堀口恵理(ピアノ連弾)
7月27日(日)	風と木のしらべ～木管五重奏とピアノの楽しみ～	《参加者：255人》	KCO 木管五重奏：高橋夏樹(フルート) 政次知己(オーボエ) 大沼政史(クラリネット) 西島直子(ファゴット) 石谷亮介(ホルン) 中村敦子(ピアノ)
8月24日(日)	ギターとピアノによる真昼の子守唄	《参加者：177人》	ララバイブラザーズ：ギターララバイ(西野 良 ギター&うた) ピアノララバイ(中西崇文 ピアノ&コーラス)
9月14日(日)	あなたに贈る～愛のメロディ～	《参加者：172人》	室田香織・吉里瞳子(ソプラノ) 西村紗希・星川響子(ピアノ)
9月28日(日)	秋呼鳥 comes with Tango	《参加者：168人》	Duo ♪ Coming Princess：来田千佐登(フルート) 姫野真紀(ピアノ)
10月19日(日)	歌と朗読による秋を感じるコンサート	《参加者：220人》	阿部和子(うた) 阿部良行(朗読) 粟田清隆(ピアノ) 阿部未奈子(創作ダンス)

11月9日(日)	清らかなる調べ～うたとピアノのコンサート～	《参加者：136人》	Voix Angélique：笹山晶子・谷知世（うた）、中牟田豊子（ピアノ）
11月29日(土)	大阪センチュリー交響楽団メンバーによる金管アンサンブル・体感コンサート	《参加者：183人》	佐野元昭・岡野圭児・熊谷健二（トランペット）近藤孝司・三窪毅・織田貴浩（トロンボーン）森陽子（ホルン）田村知也（チューバ）廣川裕史（パーカッション）
12月21日(日)	天使の響き～ハンドベルコンサート～	《参加者：263人》	ドリーム21ハンドベル教室、指揮・指導：高木至通・高木希見子
1月11日(日)	響きあう喜び	《参加者：164人》	Ensemble Daffodil（女声アンサンブル）
2月8日(日)	Sweet！コンサート	《参加者：270人》	矢木秀行（クロマチックハーモニカ）吉若えつこ（ジャズボーカル）藤木雅東子（ピアノ）
3月1日(日)	音の旅人～ピアノと共にたどる世界の旅～	《参加者：227人》	樋口五葉（ピアノ）
3月29日(日)	春のロマンス	《参加者：201人》	金関環（ヴァイオリン）碓千穂（ピアノ）

（2）ミニギャラリー

エントランスホールで写真や絵画等の展示をおこなった。

4月22日(火)～5月6日(火祝)	encre papier 墨の世界	出展者：Anne-Marie Astruc
5月20日(火)～6月1日(日)	多保正則の書画イラストレーションの世界と水彩画展	出展者：多保正則（イラストレーター）
6月17日(火)～6月29日(日)	間 kan 石と漆の饗宴	出展者：造形工房 I.Tunit（造形作家） ギャラリートーク 6月22日(日) 《参加者：36人》
7月12日(土)～7月26日(土)	くらしと計量	出展者：大阪府計量検定所
8月5日(火)～8月17日(日)	佐藤一正絵画展～里山を描く～	出展者：佐藤一正（画家）
10月21日(火)～11月3日(月祝)	泉大津市シルバー人材センター写友会作品展	出展者：泉大津市シルバー人材センター写友会（写真同好会）
11月11日(火)～11月24日(月祝)	結婚式 大道雪代写真展	出展者：大道雪代（カメラマン）
3月3日(火)～3月15日(日)	齋平篆会謹製 四国八十八カ所寺印展	出展者：齋平篆会（篆刻同好会）
3月17日(火)～3月28日(土)	四国霊場八十八カ所スケッチ紀行	出展者：中川忠司

（3）ボランティア活動および研修

点訳、英語の翻訳など各自の特技を活かした活動、土器パズルの実施や各種イベントの補助など、多岐にわたる活動がおこなわれた。

《登録者数：24名》

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

（1）小中学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しをおこなうことで事前学習の一助とした。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説をおこない、展示室での学習を支援した。

《来館数：176校・14,973名》

4月2日(水)～4月9日(水) 下見説明会 計7回

(2) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

《実績：269回・8,552名》

(3) 資料貸出し

資料を貸し出し、授業の一助とした。

2月14日(土)	堺市立若松小学校	火おこしセット
2月20日(金)	和泉市立池上小学校	火おこしセット

(4) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業をおこなった。

《実績：50授業・1,767名》

4月24日(木)	大阪市立千本小学校6年生	3回	92人
4月27日(日)	和泉市立池上小学校6年生	1回	55人
4月30日(水)	岸和田市立東葛城小学校6年生	1回	21人
5月16日(金)	岸和田市立岸和田中央小学校6年生	1回	36人
5月27日(火)	大阪狭山市立第三中学校2年生	5回	168人
5月29日(木)	堺市立日置荘西小学校6年生	3回	76人
6月3日(火)	八尾市立刑部小学校6年生	4回	121人
6月5日(木)	堺市立熊野小学校6年生	2回	46人
6月10日(火)	和泉市立南池田小学校6年生	3回	101人
6月12日(木)	堺市立西陶器小学校6年生	2回	44人
6月13日(金)	枚方市立藤阪小学校6年生	2回	73人
6月17日(火)	熊取町立熊取西小学校6年生	1回	40人
6月20日(金)	熊取町立熊取西小学校6年生	1回	102人
7月9日(水)	和歌山市立宮北小学校6年生	1回	39人
7月10日(木)	堺市立東三国丘小学校6年生	3回	115人
7月10日(木)	私立東三国丘保育園年長・年中	1回	60人
9月18日(木)	富田林市立高辺台小学校5年生	2回	38人
10月7日(火)	私立初芝堺中学校2年生	1回	80人
11月5日(水)	和泉市立池上小学校5年生	1回	60人
11月20日(木)	大阪府立泉大津高校2年生	8回	307人
12月16日(火)	大阪府立泉大津高校2年生	1回	16人
12月18日(木)	大阪府立泉大津高校2年生	1回	20人
3月5日(木)	大阪市立玉出小学校5年生	2回	57人

(5) 博学連携授業

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツ

アーをおこなったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

《小学校6校、中学校1校、高校9校、大学1校》

6月11日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習
6月25日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習
7月8日(火)	府立成美高校総合選択制生徒博物館バックヤードツアー
8月21日(木)	府立千里青雲高校総合学科選択生バックヤードツアー
8月27日(水)	堺市立庭代台中学校歴史クラブバックヤードツアー
9月27日(土)	府立泉大津高等学校地歴部と共同で文化祭ブース出展
10月11日(土)	府立今宮高等学校バックヤードツアー
10月23日(木)	高知大学考古学研究室ミニ講演会とバックヤードツアー
10月24日(金)	クラーク記念国際高校ミニ講演会
10月31日(金)	府立泉北高等学校ミニ講演会と体験学習
11月5日(水)	府立泉大津高等学校地歴部池上曾根遺跡見学会
11月26日(水)	池上小学校「地域の身近な歴史を学ぶー弥生のくらしー」
12月2日(火)	府立和泉総合高校「伝統技術を学ぶ」見学授業
1月27日(火)	近大附属小学校ミニ講演会「弥生時代とそのくらし」と体験学習
2月5日(木)	仁川学院小学校ミニ講演会と体験学習
3月21～28日(土～土)	池上小学校絵画展示(弥生フェスティバル)
3月31日(火)	府立茨木高校展示補助

(6) 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

5月25日(日)	桃山学院大学学芸員課程見学研修(7人)
7月2～6日(水～日)	博物館実習(大学名:奈良女子、帝塚山学院、奈良、近畿、京都文教、大阪、京都光華女子、大阪府立、日本、立命館、京都外国語、京都女子 実習生数:23人)
7月30・31日(水・木)	博物館実習(奈良大学通信教育部 42人)
8月8日(金)	國學院大學博物館学講座(32人)

(7) 高校生のインターンシップ

7月の4日間、高校1校から1名を受け入れた。

(8) 中学生の職場体験学習

6校から13名を2～3日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

10月8日(水)～10月9日(木)	2日間	2名(1校)
10月23日(木)～10月24日(金)	2日間	2名(1校)
10月29日(水)～10月30日(木)	2日間	2名(1校)
11月5日(水)～11月7日(金)	3日間	3名(1校)
11月19日(水)～11月20日(木)	2日間	2名(1校)
2月3日(火)～2月4日(水)	2日間	2名(1校)

(9) 博学連携セミナー

博物館の活動を理解してもらうため、学校教員との意見交換会の場を設けた。募集方法は、各学校へ開催案内を送付し、教員が自主的に応募することとした。

2月14日(土) 博学連携セミナー(小学校教員対象)

《参加者：2人》

(10) 教員研修の受け入れ

教員の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

7月8日(火)	和泉市立小学校長会	《参加者：26人》
7月29日(火)	大阪府平成20年度中学社会高校地歴教員研修	《参加者：25人》 (大阪府教育センター主催)
7月30日(水)	鳳地区青少年健全育成協議会	《参加者：102人》
11月18日(火)	和泉市立小学校長会	《参加者：21人》

(11) 教員向け研修会における出前講座

教育センター・学校などで教員向けの出前講義を実施し、考古学の最新情報を伝え、授業の充実に寄与した。

10月3日(金)	東三国ヶ丘保育所
11月21日(金)	能勢町立東中学校、能勢町教育委員会

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出展

各種催しにパネル展示や体験学習ブース等出展した。

8月10日(日)	やよい祭り(於：池上曾根史跡公園)
9月27日(土)	泉大津高等学校文化祭(於：大阪府立泉大津高等学校)
10月25・26日(土・日)	和泉市商工まつり(於：池上曾根史跡公園)
10月31日(金)～	博物館紹介パネル(於：大阪府庁本館ほか)
11月1日(土)	古代体験秋まつり(於：兵庫県立考古博物館)
11月8日(土)	こころの再生フェスティバル(於：万博記念公園)
11月23・24日(日・月祝)	日本民家集落博物館まつり(於：日本民家集落博物館)
2月9日～13日(日～金)	大阪府高齢者大学(於：大阪市中央区谷町7-4-15)

(2) 講演

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演をおこなった。

9月20日(土)	郷土史教室(於：茨木市立文化財資料館)
11月15日(土)	シンポジウム「博物館と学校教育」シリーズ第1回 「学校・地域・家庭の教育力と博物館」(於：大阪人権博物館)
11月30日(日)	大阪商業大学河内の郷土文化サークルセンター「サークルの集い」(於：大阪商業大学)
12月16日(火)	大阪府認定職業訓練校運営協議会「代表者研修」(於：大阪府立中島図書館)
1月18日(日)	日本古城友の会総会(第543回例会)(於：阿倍野区民センター)
1月24日(土)	講演「古代のすまい」(於：吹田市中央公民館)
2月28日(土)	大阪府立近つ飛鳥博物館土曜講座 「一オーサカ発 調査研究最前線」(於：府立近つ飛鳥博物館)
3月21日(土)	全日本博物館学会関西例会『関西の博物館の「これから」を考える』 (於：桃山学院大学中之島サテライトキャンパス)

7. 「体験する博物館」事業

(1) ワークショップ

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、ワークショップをおこなった。特別展・企画展関連以外に館内で実施したものは下記のとおり。

7月26日(土)	「棒はかりをつくろう」	《参加者：72名》
11月15・16日(土・日)	「作ってはかって棒はかり」	《参加者：98名》
3月22日(日)	「弥生の鏡作り」	《参加者：52名》
3月22・28(日・土)	「弥生甕による炊飯実験」	《参加者：100名》
3月24・27・28日(火・金・土)	「作って飛ばそう！鳥形“紙”ひこうき」	《参加者：84名》
3月25日(水)	「射てまえ！弓矢体験」	《参加者：60名》
3月25・26日(水・木)	「埴輪ストラップ作り」	《参加者：60名》
3月26～28日(木～土)	「拓本教室」	《参加者：112名》
3月21～28日(土～土)	「土器・銅鐸パズル」	
3月21～28日(土～土)	「弥生の脱穀・精白体験」	

毎月第3土曜日「タイムトライアル！銅鐸パズル」

毎週土曜日「土器パズル」

(2) みんないっしょに考古楽

体験活動をとおして当館ならびに弥生文化を身近に感じてもらうため、弥生文化を中心とした、子どもから大人までを含めた一般向けの体験型考古学講座を実施した。

第1回	11月22日(土)	「“縄文クッキー”を食べよう」	《参加者：27人》
第2回	2月7日(土)	「縄文の布“編布(あんぎん)”を編む」	《参加者：6人》
第3回	3月14日(土)	「縄文の布“編布(あんぎん)”を編む」	《参加者：23人》

8. 各種連携事業

(1) 学校との連携

①大阪府立和泉総合高校

9月27日(土)エンジン式電車「和泉総号」に乗ろう！

《参加者：101人》

②近畿大学文化会鉄道研究会

10月5日(日)「鉄道模型走行デモ」

近畿大学鉄道研究会の協力を得てサロンで実施した。

(2) 企業との連携

①株式会社和歌山電鐵

夏季企画展のポスター・チラシ等に、株式会社和歌山電鐵の協力で「駅長たま」の肖像を使用し、和歌山電鐵の駅や車内にポスターを掲示していただいた。

②株式会社水了軒

夏季企画展において、弁当掛紙等を借用したほか、資料の提供を受けた。

③東映株式会社

10月19日(日)「まぼろしの邪馬台国」のキャンペーンバス誘致し、広報のタイアップを図った。

《参加者：119人》

④株式会社国際交流サービス

10月28日(火)～30日(木)「埼玉 史跡と考古学の旅」に講師派遣の要請を受け、埼玉県下の遺跡・博物館見学に当館学芸員が随行した。

⑤株式会社スタジオ三十三

イベントの実施にあたって、考古パズルの無償貸与ならびに人的協力をいただいた。

11月1日(土)	兵庫県立考古博物館でのイベント「古代体験秋まつり」
11月8日(土)	大阪府「こころの再生フェスティバル」
3月21日(土)～28日(土)	「弥生フェスティバル」

⑥毎日新聞社、毎日放送

冬季特別展招待券裏面に共催2社の広告を掲載し、販売店をとおした招待券の配布に努めた。

⑦株式会社北九州中国書店

3月21日(土)22日(日)28日(土)「弥生フェスティバル」において考古学関係書籍販売ブースを設けていただいた。

(3) 公共機関との連携

①大阪府計量検定所

当館ミニギャラリーに出展していただいた。

7月12日(土)～7月26日(土)「くらしと計量」

「関西文化ワークショップフェスティバル」参加にご協力いただいた。

7月26日(土)ワークショップ「棒はかりをつくろう」

《参加者：72名》

「関西文化の日」参加にご協力いただいた。

11月15・16日(土・日)ワークショップ「作ってはかって棒はかり」

《参加者：98名》

11月15・16日(土・日)家庭用計量器無料診断、健康器具体験

②大阪市立信太山野外活動センター

「野外で体験 弥生のくらし」を当館と共同で計画・実施した。

第1回 10月13日(月祝)「弥生の粘土で土器づくり」

《参加者：68名》

第2回 12月14日(日)「体験 土器の野焼きと弥生の食べ物」

《参加者：41名》

③和泉市商工会議所

和泉市商工会議所が主催し池上曾根史跡公園で開催された「和泉市商工まつり」に出展した。

10月25・26日(土・日)「チャレンジ!土器パズル」

《参加者：241人》

④兵庫県立考古博物館

兵庫県考古博物館主催の「古代体験秋まつり」に体験学習ブースを出展した。また、併せてパネルを用いた当館の紹介をおこなった。

11月1日(土)「磨いてビックリ!弥生の鏡を作ろう!」

《参加者：140名》

⑤関西広域機構

関西広域機構が主催する催しに参加登録した。

9. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。

ア. 開催期間 平成21年3月21日(土)～28日(土) 7日間

イ. 入館料 無料

ウ. イベント内容および開催場所

博物館バックヤードツアー	21日(土)・22日(日)・28日(土) 収蔵庫 《参加者：142名》
考古学屋台村	21日(土)～28日(土) 第2展示室
卑弥呼登場	21日(土)～28日(土) 特別展示室
竪穴住居で写真を撮ろう!	21日(土)～28日(土) 第1展示室
海渡君はどこ?	21日(土)～28日(土) 第1展示室
池上曾根探検ツアー	21日(土)・22日(日) 史跡公園 《参加者：37名》
体験屋台村	
弥生の鏡づくり	22日(日) サロン 《参加者：52名》
弥生甕による炊飯実験	22日(日)・28日(土) セミナールーム 《参加者：100名》
作って飛ばそう! 鳥形“紙”ひこうき	24日(火)・27日(金)・28日(土) ホール 《参加者：84名》
射てまえ! 弓矢体験	25日(水) ホール 《参加者：60名》
埴輪ストラップ作り	25日(水)・26日(木) サロン 《参加者：60名》
拓本教室	26日(木)～28日(土) サロン 《参加者：112名》
土器・銅鐸パズル	21日(土)～28日(土) 第2展示室
弥生の脱穀・精白体験	21日(土)～28日(土) 正面玄関
絵で見る弥生文化博物館	21日(土)～28日(土) 2階
考古学関係書籍販売	21日(土)・22日(日)・28日(土) 入口
授産施設商品販売	28日(土) サロン

(2) 弥生倶楽部・要覧等

①博物館だより「弥生倶楽部」34号(平成20年10月10日発行)

②博物館だより「弥生倶楽部」35号(平成21年3月31日発行)

③『平成19年度弥生文化博物館要覧』(平成20年8月28日発行)

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語)を配布した。なお年度途中で日本語版の在庫がなくなったため、リニューアルし作成した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。なお途中で在庫がなくなったため、リニューアルし、作成した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（6種）を用意し、1校に1セットずつ配布した。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート（7種）、およびボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞五大紙やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

《報道提供回数 36 回／紙面等掲載・ラジオ放送等 300 回以上》

(8) インターネットホームページ

ホームページによる情報提供をおこなった。

《年間アクセス件数：278,299 件》

10. 研究事業

(1) 海外の研究者との学術交流

7月3日（木） JICA 研修 コロンビア 1 名、ペルー 1 名、ザンビア 1 名

7月4日（金） Annique-Elise goode（Simon Fraser University）

7月4日（金） 윤상덕（韓国国立慶州博物館）

2月11日（水） 趙 現鐘（韓国国立光州博物館館長）尹 鐘均・金 明ジョン（韓国国立光州博物館）

2月12日（木） Michael Olson・Becky Olson・Ashley Anklam（U.S.A ブルーミントン市）

11. 資料製作事業

(1) 資料収集

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

(2) 実物資料の寄贈・寄託

弥生文化に関する資料を、寄贈・寄託によって収集し、収蔵展示をおこなった。

12. サービス事業

(1) 職員研修

全職員を対象とした普通救急救命講習を実施した。

(2) アンケート調査の実施

よりよい館運営をおこなうため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配布し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(3) 音声ガイド

展示資料の理解をより深めてもらうため、常設展示ならびに特別展示資料を紹介する音声ガイドを無料で貸し出した。また、英語版常設展示音声ガイドを準備した（平成 21 年度より利用開始）。

(4) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しをおこなった。 <<貸出件数：103件>>

(5) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ①第一展示室展示解説モニターの更新、タッチパネル化
- ②特別展示室スポットライトの増設
- ③屋外掲示板の設置
- ④トイレ手洗い場の自動水栓化
- ⑤女性用トイレに擬音装置を設置
- ⑥体験ゾーン利用者用に簡易手洗い場（仮設）を用意

また、防犯のため、監視カメラ数台に録画機能を付加した。

13. 自主事業

(1) ミュージアムショップの整備

オリジナルグッズや受託販売商品の充実にも努めた。また、障害者福祉に貢献するため、授産施設商品の受託販売を開始した。

14. 入館者数および入館料一覧表（弥生文化博物館）

区 分	入館者数（人）			入館料（円）	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	2,736	5,758	8,494	637,280	83 日間
割合%	18.6	18.5	18.6		
春の展示	4,704	15,764	20,468	1,086,380	82 日間
割合%	32.1	50.8	44.8		
夏季企画展	3,031	3,347	6,378	1,006,860	50 日間
割合%	20.7	10.8	14.0		
秋季企画展	1,845	2,809	4,654	551,280	44 日間
割合%	12.6	9.0	10.2		
冬季特別展	2,358	3,365	5,723	994,200	44 日間
割合%	16.1	10.8	12.5		
合 計	14,674	31,043	45,717	4,276,000	303 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 19 年度実績			45,502	4,739,220	307 日間
平成 18 年度実績			46,143	4,926,280	311 日間

(金額は税込額)

・秋季企画展の無料欄には関西文化の日（11月15・16日）の入館者（一般358人、高大生12人、65歳以上70人）を含む。

・常設展の無料欄には弥生フェスティバル（3月22～28日）の入館者（一般948人、高大生6人、65歳以上174人）を含む。

IV. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 展示事業

(1) 常設展示

ア. 第1ゾーン：「近つ飛鳥と国際交流」

日本古代律令国家成立への道筋と、その中で近つ飛鳥の地域が果たした役割を、5～6世紀「倭の五王と渡来文化」、7世紀「古墳の終わり」、7世紀前半「聖徳太子の時代」、7世紀後半「仏教文化の開花」、8世紀「文字の時代」の五つのサブテーマにより展示。

イ. 第2ゾーン：「古代国家の源流」

古代律令国家の移行段階としての古墳時代の文化を、「竪穴式石室の世界」「埴輪の世界」「王と民衆」「横穴式石室の世界」「古墳造営のムラ」「大古墳の造営」の六つのサブテーマで展示。

ウ. 第3ゾーン：「現代科学と文化遺産」

現在、様々な科学技術が多くの文化財の保存や調査・分析に応用され、大きな成果を挙げている。このことについて、保存処理を終えた修羅を中心に、幾つかの例を取り上げ、その方法や成果を紹介展示。

(2) 特別展・企画展

ア. 春季企画展

『大阪の古墳時代を考えるー（財）大阪府文化財センター 35年の発掘調査精華ー』

①開催趣旨

（財）大阪府文化財センターが調査した古墳時代に関する重要成果を展示した。大阪の古墳時代を考え、大阪とそこに居住した人々が、わが国の歴史に果たした役割にせまる。平成19年度の3月4日から継続で実施した。

②開催期間 平成20年3月4日（火）～4月13日（日）（開館日数 36日）

③会場 特別展示室

④入館者数 総入館者 14,149人（うち展示室入館者 3,812人）

内訳 19年度開館日数24日 総入館者9,220人（うち展示室入館者2,802人）

20年度開館日数12日 総入館者4,929人（うち展示室入館者1,010人）

⑤入館者数 総入館者 4,884人（うち展示室入館者 965人）

展示室1日あたり 123人

⑥入館料

区分	個人	団体
一般	400円	320円
高・大生・65才以上	300円	240円

⑦講演会、展示解説の実施

平成19年度に実施した。

イ. 春の展示 館藏品展『近つ飛鳥と渡来人ーよみがえるー須賀古墳群』

①開催趣旨

一須賀古墳群の成立と展開に焦点を当てて、館蔵品を中心に、近つ飛鳥周辺に多く住んでいたと考えられている渡来人の足跡をたどる。

②開催期間 平成20年4月26日(土)～7月27日(日) (開館日数 81日)

③会場 特別展示室

④入館者数 総入館者 27,882人 (うち展示室入館者 9,926人)

展示室1日あたり 123人

⑤入館料

区分	個人	団体
一般	300円	240円
高・大生・65才以上	200円	160円

⑥講演会の実施

日程		講師・演題	参加者数
第1回	5月18日(日)	当館館長 白石太一郎 「河内の大型群集墳について－高安・平尾山・一須賀古墳群－」	120人
第2回	6月8日(日)	(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好 「南河内の渡来の人々とその文化」	174人

⑦展示解説

	日程	内容	参加者数
全6回	4月27日、 5月4・6日、 6月1・15日 7月6日	展示解説	95人

⑧一須賀古墳群を歩く

広く子どもから一般を対象にして、一須賀古墳群とその周辺を案内した。

	日程	参加者数
第1回	5月11日(日)	17人
第2回	5月25日(日)	11人

ウ. 夏季企画展 『きる・ほる・けずるの道具箱－ぼくらのアイテム－』

①開催趣旨

「切る・掘る・削る」などの単純な所作に使用される道具は、人類の最も基本的なもの。こうした基本的な所作に焦点をあて、使用された道具の歴史を考古資料と現代の工具を比較しながら探る。小中学生を主対象とした夏休み企画とする。

②開催期間 平成20年8月9日(土)～9月28日(日) (開館日数 45日)

③会場 特別展示室

④入館者数 総入館者 12,163人 (うち展示室入館者 4,284人)

展示室1日あたり 95人

⑤入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	300 円	240 円
高・大生・65 才以上	200 円	160 円

⑥講演会の実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	9 月 7 日 (日)	(財) 竹中大工道具館 渡邊 晶 「大工道具の日本史」	22 人
第 2 回	9 月 21 日 (日)	(株) オルファ 岡田三朗 「カッター誕生秘話と工作教室」	60 人

⑦展示解説

	日 程	内 容	参加者数
全 7 回	8 月 10・17・23・31 日 9 月 14・15・23 日	展示解説	98 人

⑧体験イベント

日 程	内 容	参加者数
8 月 24 日 (日)	むかしの道具を作ってみよう (石器作り体験)	94 人
随 時	むかしの道具を使ってみよう (ヤリガンナ体験)	416 人

エ. 秋季特別展 『考古学からみた古代の女性 巫女王卑弥呼の残影』

①開催趣旨

近年の女性史研究の進展によってわが国の歴史における女性の実像も少しずつ明らかになり、男女観も様々に変化を遂げている。古墳時代を中心とした出土品から古代の女性像をイメージし、「どのような存在とみなされていたのか」、「どのような役割を担っていたのか」を考えたい。

②開催期間 平成 20 年 10 月 11 日 (土) ~ 12 月 7 日 (日) (開館日数 50 日)

③会 場 特別展示室

④入館者数 総入館者 18,571 人 (うち展示室入館者 8,169 人)

展示室 1 日あたり 163 人

⑤入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
高・大生・65 才以上	400 円	320 円

⑥内覧会の実施

10 月 10 日 (金) 50 人

⑦講演会の実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	10 月 12 日 (日)	(財) 大阪府文化財センター理事長 水野正好 「倭国女王卑弥呼に幻惑された人びと」	214 人

第2回	10月19日(日)	大阪大学副学長 武田佐知子 「衣服からみた古代の男女」	70人
第3回	10月26日(日)	神戸女子大学准教授 寺沢知子 「権力と女性—巫女王の役割—」	92人
第4回	11月9日(日)	熊本大学教授 木下尚子 「装身具からみた先史・古代の男女」	72人
第5回	11月30日(日)	当館館長 白石太一郎 「考古学からみたヒメ・ヒコ制」	174人

⑧河内飛鳥れきしウォーク～講演会&王陵の谷・磯長谷古墳群をめぐる～
当館と太子町との共同企画として実施した。

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
11月3日(月・祝)	当館館長による講演会 「磯長谷古墳群の提起する問題」 王陵の谷「磯長谷古墳群」 探訪竹内街道歴史資料館・近つ飛鳥博物館見学	94人 (申込123人)

⑨展示解説

日 程	内 容	参加者数
全3回 10月13日、 11月8・29日、 12月7日	展示解説	139人

オ. 冬季特別展 『古市・百舌鳥大古墳群—巨大古墳の時代—』

①開催趣旨

古墳時代中期は巨大古墳の時代であり、その代表が古市・百舌鳥古墳群である。当時の繁栄とそれを支えた政治的・文化的要因を探る。世界遺産暫定リスト登録に向けた連携事業として、地元市町の協力を得る。

②開催期間 平成21年1月17日(土)～3月15日(日) (開館日数50日)

③会 場 特別展示室

④入館者数 総入館者 20,347人 (うち展示室入館者 8,011人)

展示室1日あたり 160人

⑤入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	600円	480円
高・大生・65才以上	400円	320円

⑥内覧会の実施

1月17日(土) 51人

⑦講演会の実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	1月25日(日)	(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好 「百舌鳥・古市古墳群の繁栄を生み出した文物」	168人
第2回	2月8日(日)	立命館大学教授 和田晴吾 「中期古墳の秩序と倭国の社会」	330人
第3回	2月22日(日)	当館館長 白石太一郎 「百舌鳥・古市古墳群とヤマト王権」	598人
第4回	3月8日(日)	京都大学名誉教授 上田正昭 「倭の五王とその時代」	463人

⑧発掘調査報告会

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
2月11日(水・祝)	山田幸弘(藤井寺市教育委員会文化財保護課) 「西墓山古墳の発掘調査」 井原 稔(羽曳野市教育委員会社会教育課) 「峯ヶ塚古墳の発掘調査」 十河良和(堺市市長公室文化部文化財課) 「百舌鳥御廟山古墳の発掘調査」	270人

⑨展示解説

日 程	内 容	参加者数
全5回 1月18日、 2月1・7日、 3月7・15日	展示解説	224人

⑩河内飛鳥れきしウォーク

	日 程	内 容	参加者数
第1回	2月15日(日)	百舌鳥古墳群を歩く	80人 (申込150人)
第2回	3月1日(日)	古市古墳群を歩くー藤井寺編ー	88人 (申込192人)
第3回	3月14日(土)	古市古墳群を歩くー羽曳野編ー	6人雨天中止 (申込205人)

カ. 冬の企画陳列『近つ飛鳥博物館ポスター展～15年をめぐる～』

①開催趣旨

当館は、平成21年3月25日、開館15周年を迎えた。開館以来のポスター、建築にかかわる資料を展示し、この15年間に発信した情報を振り返り、古代国家を形成した「元気な大阪」を実感し、現代の私たちの創造力の糧にさせていただく。

②開催期間 平成21年3月25日(水)～4月12日(日)(開館日数 17日)

③開催場所 特別展示室

④入館者数 総入館者 6,509人（うち展示室入館者 1,428人）

展示室1日あたり 84人

内訳 20年度開館日数6日 総入館者1,907人（うち展示室入館者430人）

21年度開館日数11日 総入館者4,602人（うち展示室入館者998人）

⑤入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	300円	240円
高・大生・65才以上	200円	160円

⑥講演会（ミニシンポジウム）

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
4月12日（日）	市本芳三（当館学芸課長）「河内にひろがる古代寺院」 山本 彰（大阪府教育委員会）「近つ飛鳥の古墳と古道」 一瀬和夫（京都橘大学教授）「百舌鳥・古市古墳群と仁徳陵古墳」 ミニシンポジウム（白石当館館長交えて）	216人

2. 「市町村と連携する博物館」事業

（1）連携展示事業

企画展等の実施に際して、地元市町を中心に大阪府下市町村教育委員会の協力を得て、連携を通して効率的かつ効果的な展示事業を実施した。

ア. 冬季特別展『古市・百舌鳥大古墳群－巨大古墳の時代－』

大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が取り組んでいる百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を後押しした。堺市、羽曳野市、藤井寺市と共催し、展示資料、展覧会中のイベント、広報等について効果的な事業を実施した。

（2）スポット展示

大阪府下における発掘調査最新成果の展示公開を大阪府教育委員会の協力を得て、また当法人埋蔵文化財発掘調査部門と連携して、土曜講座にあわせ実施した。

	日 程	内 容	展示室入館者数
第1回	8月16日（日）～ 8月31日（日）	「初期須恵器の高环形器台－形と紋様のあれこれ－」	1275人
第2回	9月20日（土）～ 10月5日（日）	「茨木市でみつかった終末期古墳－桑原 西古墳群の出土品」	1625人
第3回	12月13日（土）～ 12月27日（土）	「大王権を支えたハイテク集団－河内の馬飼と葺屋北遺跡－」	646人
第4回	3月19日（木）～ 4月5日（日）	「古代寺院を飾るもの－舍利容器と荘厳具－」	5352人

（3）広報の強化

ア. 近隣市町の協力を得て、広報誌やホームページに当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的

な広報を行った。企画展等の実施には自治体他、新聞社、電鉄会社等に共催、後援、特別協力を依頼し、広報の協力を得た。

河南町、太子町、藤井寺市、羽曳野市、柏原市、富田林市、河内長野市、千早赤阪村、交野市、八尾市
広報誌等の掲載件数 24 件

○春季企画展『大阪の古墳時代を考える』

共催 (財)大阪府文化財センター

後援 国土交通省近畿整備局浪速国道事務所、独立行政法人都市再生機構西日本支社、西日本高速道路株式会社、大阪府、大阪府道路公社、近畿日本鉄道株式会社

○夏季企画展『きる・ほる・けずるの道具箱ーぼくらのアイテムー』

後援 太子町・同町教育委員会、河南町・同町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

特別協力 オルファ株式会社

○秋季特別展『考古学からみた古代の女性 巫女王卑弥呼の残影』

共催 産経新聞社

後援 河南町・同町教育委員会、太子町・同町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

○冬季特別展『古市・百舌鳥大古墳群ー巨大古墳の時代ー』

共催 堺市、羽曳野市、藤井寺市、朝日新聞社

後援 太子町・同町教育委員会、河南町・同町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

○冬の企画陳列『近つ飛鳥博物館ポスター展～15年をめぐる～』

後援 読売新聞大阪本社、近畿日本鉄道株式会社、(財)大阪労働協会

イ. 金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会

博物館・資料館相互の連携を深め、観覧者の誘致を図った。

(4) 史跡と一体となった事業の拡充

太子町との連携共同企画で、博物館と周辺地域の歴史資産を活用し、地域の歴史の重要性を知らしめ、文化財保護に対する理解を促進した。

「河内飛鳥れきしウォーク 講演会&王陵の谷・磯長谷古墳群をめぐる」

日 時 平成20年11月3日(月・祝)

参加人数 94人(申込123人)

3. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座(オーサカ発 調査研究最前線)

生涯学習の一環として、博物館周辺の歴史を学ぶ基礎となる講座「近つ飛鳥入門講座」を毎月第3木曜日に実施した。また、最新の発掘調査や研究を知る機会として土曜講座を毎月第4土曜日に開催し、合わせてスポット展示を実施した。弥生文化博物館、大阪府教育委員会、当法人埋蔵文化財発掘調査部門と連携した事業。

ア. 近つ飛鳥入門講座

第9回 4月17日 小栗 梓「石棺の種類と見方」

第10回 5月15日 鹿野 塁「近つ飛鳥の渡来系遺物Ⅱ」

第11回	6月19日	高松雅文	「埴輪の見方」
第12回	7月17日	三又耕三	「埴輪づくり体験」
第13回	8月21日	廣瀬時習	「古墳とは何か？」
第14回	9月18日	市本芳三	「発掘からわかる古代寺院の建物」
第15回	10月16日	高松雅文	「古墳に表された秩序を読む」
第16回	11月20日	小栗 梓	「考古資料から古代の女性像をさぐる」
第17回	12月18日	鹿野 壘	「須恵器のはじまり」
第18回	1月15日	三又耕三	「ミニ埴輪づくりⅡ(人・動物)」
第19回	2月19日	廣瀬時習	「古墳時代のムラと田んぼ」
第20回	3月19日	市本芳三	「瓦の製作技法」

参加者数 計 345 人

イ. 土曜講座

第1回	5月24日	市本芳三	当館学芸課長「瓦工房」
第2回	6月28日	小栗 梓	当館学芸員「一須賀古墳群の石棺」
第3回	7月26日	鹿野 壘	当館主任学芸員「南河内の前期古墳」
第4回	8月23日	森本 徹	(財)大阪府文化財センター「須恵器 器台の源流と使われ方をさぐる」
第5回	9月27日	小川裕見子	大阪府教育委員会「安威川流域の古墳—茨木市の終末期古墳」
第6回	10月25日	廣瀬時習	当館主任学芸員「古墳に副葬された品々の配列」
第7回	11月22日	入江正則	(財)大阪府文化財センター 「近畿地方の前期古墳から学ぶもの—近年の現地説明会から紹介—」
第8回	12月20日	宮崎泰史	大阪府教育委員会「四條畷市部屋北遺跡の出土遺物」
第9回	1月24日	水野恵利子	(財)大阪府文化財センター 「水中考古学への招待～坂本龍馬の夢 沈船いろは丸の調査～」
第10回	2月28日	江浦 洋	弥生文化博物館「前方後円墳の築造技術」
第11回	3月28日	岡本敏行	大阪府教育委員会「日本古代における仏舎利の奉安」

参加人数 計 384 人

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、古代衣装着用体験・勾玉づくり・修羅引き体験・森の工作などを5月5日こどもの日に開催した。

参加者数 464 人

(3) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場を利用して、音楽会を開催し、親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場とした。地元高校生の軽音楽部の発表の場、他学校との交流の場とし、博物館・風土記の丘への親しみを育んだ。

日 時 4月29日(火・祝)

出場高校 大阪府立長野高等学校、大阪府立金剛高等学校、大阪府立藤井寺高等学校、阪南大学高等学校、上宮太子高等学校 計5校

参加者数 350 人

(4) こども博物館探検ツアー

中学生およびその保護者を対象に、博物館により親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

日 時 7月21日(月・祝)、8月17日(火)、2月14日(土)

参加者数 計48人

(5) こども古墳探検ツアー

中学生以下の子どもとその保護者を対象にして、近つ飛鳥風土記の丘の古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

日 時 5月3日、1月31日(土)雨天中止、3月14日(土)雨天中止

参加者数 15人

(6) 近つ飛鳥ギャラリー

府民等の文化活動を支援すると共に当館の広報・PRに資するため、地階ロビー、1階ロビーの空間を活用して、絵画、写真等の展示を行った。

ア. 地元サークル展示「富貴蘭・近つ蘭遊倶楽部」「深雪アートフラワー・ジャスミングループ」「河南町大宝押し花・花みづき会」

日 時 11月1日～11月9日 8日間

参加者数 3,687人

イ. 第12回MOA美術館南河内児童作品展(河南町)

日 時 12月2日～12月9日 7日間

参加者数 1,826人

ウ. 太子町教育委員会「親子で集うふるさと写生会」作品展

日 時 1月17日～1月25日 8日間

参加者数 2,283人

エ. みなみかわち歴史ボランティアネットワーク活動紹介パネル展

日 時 1月31日～2月11日 10日間

参加者数 4,150人

オ. 「遠つ飛鳥」写真展

日 時 2月19日～3月11日 18日間

参加者数 7,059人

(7) ボランティア活動・観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集した。講演会・ワークショップ・体験学習などの事業への支援などの活動を行っていただいた。

また、地元各市町の観光ボランティア「みなみかわちガイドネットワーク」の活動と連携し、活動を支援すると共に当館への来館を推進する広報員になってもらった。

ネットワークの案内チラシの作成 10,000部

4. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 出前授業

幼稚園、小学校、中学校、高校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解を広めた。

実施授業数 30回 対応生徒数 1,403人

5月27日(火)	富田林市立小金台小学校	1回	126人
6月3日(火)	大阪市立成育小学校	2回	127人
6月6日(金)	大阪市立長吉小学校	2回	126人
6月11日(火)	大阪市立九条東小学校	2回	45人
6月17日(木)	堺市立八田荘西小学校	2回	59人
10月7日(火)	初芝堺中学校	1回	120人
10月28日(火)	大阪府立泉北高校	2回	177人
10月31日(金)	大阪府立八尾翠翔高校	2回	84人
11月8日(土)	河内長野市立川上小学校	1回	40人
11月8日(土)	大阪府立羽曳野高校	1回	18人
11月20日(木)	大阪府立泉大津高校	4回	153人
12月19日(金)	大阪府立はびきの支援学校	1回	5人
2月6日(金)	富田林市立葛城中学校	3回	85人
3月11日(水)	正社学園豊中中学校	6回	238人

(2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。

(3) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。

(4) 大学生博物館学実習および芸術大学実習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。また、芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として、博物館、風土記の丘を活用してもらった。

ア. 博物館実習

○期間 7月17日(木)～7月21日(月・祝)

受け入れ大学 大阪大学 大阪教育大学 大阪府立大学 阪南大学 帝塚山学院大学 京都外国語大学
計6大学 実習生受講生 12人

○期間 8月1日(金)

受け入れ大学 奈良大学通信教育課程 実習生受講生 43人

○研修等

國學院大学 お茶の水大学 計62人

イ. 実習

独立行政法人国際協力機構(JICA)国立民族学博物館「博物館学集中コース」
大阪芸術大学 映像学科、放送学科、写真学科、音楽学科

大阪産業大学 人間環境学部 文化コミュニケーション学科

高知大学人文学部考古学研究室

武庫川女子大学 建築学科

大阪大学経済学部・人間科学部・工学部・基礎工学部

受入件数 9件 学生数 238人

(5) 大学生・高校生のインターンシップ

大学生・高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、職業選択の参考とする体験の支援をした。

日時 8月22日～8月24日

柴島高等学校 農芸高等学校 学生数 4人

(6) 中学生の職場体験学習

将来希望する職業を実際に体験し、働くことを学び、将来の職業選択の参考とする体験学習を支援した。

太子町立中学校、富田林市立第三中学校、河南町立中学校、河内長野市立千代田中学校

対応生徒数 23人

(7) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。

奈良県香芝市小中学校教頭会 研修

日時 12月12日(金) 参加人数 12人

(8) 教員向け研修会、校長会等における出前講座、校外学習利用への広報

校長会等で校外学習、アウトリーチ等の利用広報に努め、授業の充実に寄与した。

富田林市立小・中学校校長会 河南町立幼稚園園長・主任・保育所所長会 河南町立小・中学校教頭会

太子町立小・中学校校長・幼稚園園長会 富田林市立幼稚園園長会 南河内地区中学校校長会 市町村学校教育指導主管部課長会議 「おおさか元気広場」事業

(9) 博学連携事業

ア. 大阪歴史学会現地見学検討会

大阪歴史学会が主催する現地見学検討会の実施にあたって、当館の見学およびホールを使用したシンポジウムを連携事業として行った。

日時 4月12日(土) 参加者数 135人

イ. 歴史街道推進協議会

大阪から奈良にかけての道中における歴史を知る研修を実施。

日時 11月14日(金) 参加者数 45人

5. 「どこでも博物館」事業

(1) 河内飛鳥れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。

ア. 秋季特別展

講演会&王陵の谷・磯長谷古墳群をめぐる。太子町との共同企画として実施。

日時 11月3日(月・祝)

参加者数 94人（申込123人）

イ. 冬季特別展

共催の堺市、羽曳野市、藤井寺市と連携して実施。

2月15日（日） 百舌鳥古墳群を歩く 80人（申込150人）

3月1日（日） 古市古墳群を歩く－藤井寺編－ 88人（申込192人）

3月14日（日） 古市古墳群を歩く－羽曳野編－ 6人雨天中止（申込205人）

（2）出前講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解を広め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

府民文化サークルや民間のカルチャーセンター等 8件

参加者数 518人

（3）サテライトミュージアム

館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。

大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）

大阪府庁本館、別館、パスポートセンター

こころの再生事業（万博公園）

日本民家集落博物館まつり

弥生フェスティバル（大阪府立弥生文化博物館）

（4）インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内の他、学芸員の活動等を、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。また、大阪府のホームページから特別展の動画配信を行った。

アクセス数 114,846回

6. 「体験する博物館」事業

（1）校外学習の受け入れ（ワークショップ）

小・中学校および高校生の校外学習を受け入れ、それに合わせて、工作教室的なワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。

受入学校数 56校 生徒総数 4,210人

（2）修羅ひき体験

博物館に展示している古墳時代の運搬具、国重要文化財「修羅」の復原品を実際にひき、古代の運搬を体験する。風土記の丘で実施し、古墳築造にかかる古代人の力を想像させ、風土記の丘の活用を促進した。

日 時 10月4日（土）、11月1日（土）

参加者数 計46人

（3）子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、牛乳パックなどのリサイクル品や風土記の丘のドングリ、松笠などを用いて、博物館の展示品などの模型を作る工作室を開催した。

日 時 7月19日（土）

参加者数 60人

(4) こども玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

日 時 6月29日(日)、8月30日(土)

参加者数 計38人

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものを作ったり、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作を実施した。

日 時 4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、8月16日、9月20日、10月18日、
11月15日、12月20日、1月17日、2月21日、3月21日

参加者数 計297人

7. 企業との連携事業

- (1) 夏季企画展「きる・ほる・けずるの道具箱ーぼくらのアイテムー」において、「カッター誕生秘話と工作教室」を実施し、株式会社オルファから工作教室の材料、道具の提供を受けた。
- (2) 職業選択のきっかけづくりの番組、NHK「平成若者仕事図鑑」(学芸員の仕事について)の撮影現場として協力した。(9月27日放送)

8. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介などを掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

29号 平成20年9月30日発行

30号 平成21年3月31日発行

(2) 催し物案内(ミュージアムカレンダー)の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。

(3) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供する。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

記事掲載・放送放映件数 計188件

自治体等へのPR活動 自治会役員会、福祉委員会総会、商工会役員会、民生委員・児童委員協議会幹事会等 8件

(4) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。

○秋季特別展図録「考古学からみた古代の女性 巫女王卑弥呼の残影」

(配布1,200部、販売1,200部)

○冬季特別展図録「古市・百舌鳥大古墳群ー巨大古墳の時代ー」

(配布1,100部、販売1,400部)

(5) 講演会事業

ア. 館長特別講演会

白石館長がテーマを厳選して講演会を行った。

場 所 地階ホール

	日 程	演 題	参加者数
第1回	4月20日(日)	「箸墓古墳の被葬者を考える」	202人
第2回	6月22日(日)	「叡福寺古墳(聖徳太子墓)の再検討」	158人
第3回	7月13日(日)	「高松塚とキトラ古墳」	168人
第4回	9月28日(日)	「古墳からみた応神以前の王統譜」	140人

イ. 特別講演会

(財)大阪府文化財センターが発掘調査した大和川今池遺跡の成果を講演会と共に速報発信した。

場 所 地階ホール

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
6月11日(水)	(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好 「河内大道の発見で想うこと」 (財)大阪府文化財センター技師 福佐美智子 「大和川今池遺跡の発掘調査報告」	120人

ウ. 関西考古学の日 リレー講演会

歴史ある関西で実施されている発掘調査事業を理解してもらい、身近な考古学を楽しんでもらうため、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿支部が主催した「関西考古学の日」にちなんで実施した。

場 所 地階ホール

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回 9月28日(日)	当館館長 白石太一郎 「古墳からみた応神以前に王統譜」	140人
第2回 10月5日(日)	(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好 「大阪古代史四大発掘物語」	58人

エ. 関西文化の日講演会

毎年11月に関西圏の各博物館・美術館が入場料を免除または割引する「関西文化の日」の催しとして、当館の設計者 安藤忠雄氏の講演を実施した。

場 所 地階ホール

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
11月16日(日) 2回	建築家 安藤忠雄 「今をどう生きるー仕事を通してー」	521人

オ. 開館15周年記念講演会

平成21年3月25日、開館15周年を迎えた。講演会を実施し、当館をより一層広く府民へ知らせ

る機会として、大阪市内を会場とした。

場 所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
3月22日（日）	当館館長 白石太一郎 「考古学からみた推古朝」 奈良大学教授 東野治之 「聖徳太子の実像」 座談会 司会：坪井恒彦氏（読売新聞編集委員）	417人（応募881人）

（6）音声ガイドの整備

従前の「じっくりコース」に加え、よりわかりやすくコンパクトにした「入門コース」を21箇所追加した。
また、中国語の音声ガイドを21箇所設定し、案内チラシを同時に作成した。

9. 研究事業

（1）海外の研究者との学術交流を実施した。

韓国、中国の研究者を中心に、24人が来館。

10. 資料調査収集製作事業

（1）図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を購入した。

（2）資料の修理・保存処理

ア. 国重要文化財「修羅」の保存処理後の定期点検を実施した。

イ. 紫金山古墳、南塚古墳出土資料の保全状況の点検を実施した。

11. サービス事業

（1）特別開館日の設定

来館者の多い、ゴールデンウィークにかかる4月28日（月）、盆休暇の8月11日（月）を風土記の丘を含め、臨時開館して利用者への便宜を図った。

（2）マーケットリサーチの実施

特別展等開催時にアンケートを行い、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

12. 入館者数及び入館料一覧

区分	入館者数					入館料 (税込)	備考 (日間)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展 (割合 %)	2,579 12.7	1,574 10.0	4,153 11.5	10,652 16.5	14,805 14.7	565,960 8.5	62
小テーマ展示 (4/1～4/13) 大阪の古墳時代を考える (割合 %)	672 3.3	338 2.2	1,010 2.8	3,919 6.1	4,929 4.9	227,260 3.4	12
春の展示 (4/26～7/27) 近つ飛鳥と渡来人 (割合 %)	5,900 29.1	4,026 25.6	9,926 27.6	17,956 27.8	27,882 27.7	1,445,700 21.6	81
夏季企画展 (8/9～9/28) きる・ほる・けずる・の道具箱 (割合 %)	2,634 13.0	1,650 10.5	4,284 11.9	7,879 12.2	12,163 12.1	874,760 13.1	45
秋季特別展 (10/11～12/7) 考古学からみた古代の女性 (割合 %)	3,683 18.2	4,486 28.6	8,169 22.7	10,402 16.1	18,571 18.5	1,628,420 24.3	50
冬季特別展 (1/7～3/15) 百舌鳥・古市大古墳群展 (割合 %)	4,548 22.4	3,463 22.0	8,011 22.3	12,336 19.0	20,347 20.2	1,885,860 28.2	50
開館15周年記念 (3/25～4/12) ポスター展 (割合 %)	256 1.3	174 1.1	430 1.2	1,477 2.3	1,907 1.9	61,640 0.9	6
合計 (割合 %)	20,272 100	15,711 100	35,983 100	64,621 100	100,604 100	6,689,600 100	306
平成19年度実績			36,860	62,310	99,170	7,102,660	306
平成19年度実績			35,392	60,794	96,186	6,576,280	303
平成19年度実績			17,882	17,510			

V. 日本民家集落博物館事業

1. 日向椎葉の民家の保存修理について

日向椎葉の民家（宮崎県東臼杵郡椎葉村から昭和 34 年に移築）は、老朽化が進み地盤の沈下等が生じていたため、国庫補助金と大阪府の負担金、財界からの援助により平成 19 年 1 月に解体修理に着手、平成 20 年 6 月に工事完了。

平成 20 年 7 月 8 日（火）関係者の列席を得て竣工式を挙げる。関連して次の事業を実施。

- ・企画展「椎葉の民家解体修理工事を終えて」
- ・椎葉神楽（十根川神楽）の公演
- ・宮崎県物産展 （いずれも別途記載）

2. 展示事業について

（1）常設展示

① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするコーナー

国指定文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。

また、大阪府文化財センター展示室「カルチュアはっとり」を設置している。

② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするコーナー

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定 = 北河内の茶室、剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

（2）カルチュアはっとり展示事業

① 市民展示

ア、開催趣旨

地域の文化サークルや個人の文化活動の発表の場として展示室カルチュアはっとりを貸し、ギャラリーとして活用する初の試み。

豊中市上野拓本クラブによる拓本作品展を開催。道祖神や地蔵、豊中市内最古の石碑の拓本などを中心に、こどもにも親しみやすい展示を開催。

イ、開催期間

平成 20 年 4 月 5 日（土）～ 5 月 18 日（日）

ウ、同時開催

「楽しい拓本教室」富田好久氏（元大阪青山短期大学教授）による拓本講座。

開催日：平成 20 年 4 月 6 日（日）・20 日（日）

5 月 4 日（日）・18 日（日） 計 4 回

② 企画展「椎葉の民家解体修理工事を終えて」

ア、開催趣旨

国指定重要文化財 旧椎葉家住宅の保存修理工事の工程を解体時から完成までを写真で紹介するとともに、屋根葺きの道具などを展示・紹介。

イ、開催期間

平成 20 年 6 月 7 日(土)～8 月 31 日(日)

ウ、同時開催

「椎葉の民家解体修理工事を終えて」伊藤 誠氏(財団法人文化財建造物保存技術協会)による講演。

開催日：6 月 7 日(土)

③ 市民展示「能面の世界」

ア、開催趣旨

地域の文化サークルや個人向けにギャラリーとして活用する試みの第 2 弾。豊中市内に工房を持つ、遊創工房会員の能面作品を展示。

イ、開催期間

平成 20 年 9 月 6 日(土)～10 月 26 日(日)

ウ、同時開催

能面作りを実際に体験していただくため、希望者を募り「能面打ち」教室を開催。期間中の土・日・祝日に 2 グループ制で実施。

④ 企画展「奄美大島の民家とくらし」

ア、開催趣旨

当館に移築されている奄美大島の高倉の故郷の民家建築、生業、民俗芸能などについて、当館所蔵の民具資料とともに紹介する。さらに、幕末に著された民俗誌『南島雑話』の原画データを奄美市立博物館より借用し、複製パネルとして展示。

イ、開催期間

平成 20 年 11 月 1 日(土)～12 月 26 日(金)

⑤ 特別展示「昔の暮らし」

ア、開催趣旨

当館所蔵の民具や、多くの方から寄贈いただいた古くから残る暮らしにかかわる道具の展示を通じて、それらを使っていたころの暮らしの様子や変化、先人の苦心等について考える。

イ、開催期間

平成 21 年 1 月 14 日(水)～3 月 8 日(日)

ウ、同時開催

学校団体対象「昔の暮らしについてのお話を聞こう」

期間中、小学校団体向けに展示民具及び民家についてボランティアによる解説を行った。(来館校数／児童数：18 校／1,977 名)

3. 各種催し事業

来館者に親しんでもらえる博物館活動の一環として次の事業を実施。

(1) 季節行事の開催

来館者に日本に伝わる四季折々の行事に親しんでいただくため、移築民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月20日(日)～5月6日(火・祝)	大和十津川の民家前庭 飛騨白川の民家 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(木)～5月6日(火)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：6月28日(土) かざり：6月29日(日) ～7月6日(日)	大和十津川の民家 縁側	参加者約60名
お盆飾り	8月9日(土)～8月16日(土)	信濃秋山の民家	
芋名月	9月14日(日)～9月21日(日)	大和十津川の民家	
正月かざり	1月6日(火)～1月31日(土)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月10日(土)11日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 210食
桃の節句・雛飾り	2月3日(火)～3月1日(日)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

①民家等を利用し下記の体験教室を長期に亘って開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	参加者
養蚕体験	7月1日～7月31日		
糸紡ぎ体験・真綿作り体験	8月30日(土)・31日(日)	飛騨白川の民家	約90名
はたおり体験	4月30日～5月4日、 10月1日・4日・8日・11日・15日、11月8日・9日・ 15日・16日	摂津能勢の民家 南部の曲家	54名
石臼体験	4月6日～6月29日、9月7日～12月7日、1月18 日～3月29日の各日曜日	石臼体験コーナー	261名
ワラぞうり作り体験	10月18日～11月29日、3月7日～3月28日の各 土曜日	南部の曲家の土間	42名
コマ遊び体験	4月5日～6月28日、9月6日～12月6日、2月21 日～3月28日の毎週土曜日	日向椎葉の民家前	930名

②また、季節に応じて、下記の体験教室も開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者・参加者
竹細工	5月3日(土祝)・4日(日)	館内広場	江頭文雄 他 35名
昔の遊び体験	5月5日(月祝)・6日(火休)	飛騨白川の民家・館内広場	久保田 栄 他 約100名
民家を作ろう	7月27日(日)	カルチャアはっとり	本間元樹 他 18名
虫の鳴き声を聴く会	9月20日(土) (開館時間19時30分まで延長)	日向椎葉の民家他	真野隆夫 他 48名

しめなわ作り教室	12月6日(土)	南部の曲家 大和十津川の民家	森川良一 他 9名
餅つき体験	2月7日(土)・8日(日)	日向椎葉の民家前	佐藤文夫 他 145名
箏演奏会	3月1日(日)	大和十津川の民家	川島正子 柳友紀子 他 約200名

(3) 展示民家を活用しての催し

① 押し花作品展と押し花教室

- ア. 内 容 和泉市で活躍している押し花作家グループの作品を展示し来館者に鑑賞していただいた。
また、期間中の6日(日)には、押し花教室(コースター作り)を開催。
- イ. 期 間 平成20年4月1日(火)～4月30日(水)
- ウ. 場 所 南部の曲家
なお、11月23日(日・祝)には押し花による年賀状作りの教室を開催した。

② お茶セミナー

- ア. 内 容 当館ボランティアによる、茶室の公開とお茶について語らう会。
- イ. 実施日 平成20年4月12日、5月10日、6月14日、7月12日
平成20年9月13日、10月18日、11月8日、12月13日
平成20年2月14日、3月14日 (いずれも各土曜日)
- ウ. 場 所 北河内の茶室
- エ. 参加者 約70名

③ 子どもアート&クラフト

- ア. 内 容 近隣住民・当館ボランティアの指導により、館内の民家や広場において、子ども達が創作活動に親しむ活動。
- イ. 実施日 平成20年5月3日(土・祝)・4日(日)及び11月2日(日)・3日(月・祝)
- ウ. 場 所 南部の曲家
- エ. 参加者 約30名

④ むかしばなしを聞きましょう

- ア. 内 容 主に小学生を対象として、豊中子ども文庫、豊中紙芝居の会の協力による昔話と紙芝居に親しむ会。
- イ. 実施日 平成20年6月14日(土)＜2回公演＞・10月26日(日)・11月15日(土)
平成21年3月8日(日)＜2回公演＞ 計4日間、6回公演
- ウ. 場 所 大和十津川の民家
- エ. 参加者 約110名

⑤ 写真展「能への誘い」

- ア. 内 容 市民が全国各地の薪能を撮影した写真展。
- イ. 期 間 平成20年9月6日(土)～9月28日(日)
- ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

⑥ みんなで歌おう

ア. 内 容 市民グループによる歌声コンサート。

イ. 実施日 平成20年10月5日(日)

ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

エ. 参加者 約40名

⑦ 落語で笑うて民家一第9回『百楽の会』一

ア. 内 容 大阪府老人大学上方演芸科3期終了生による落語発表会

イ. 実施日 平成20年11月2日(日)

ウ. 場 所 大和十津川の民家

エ. 参加者 33名

⑧ 写真展「長崎の町並み」

ア. 内 容 長崎の特色ある建物を撮影した写真展。

イ. 期 間 平成21年1月14日(水)～2月28日(土)

ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

⑨ 民家集落作品展

ア. 内 容 当館を題材にした絵画や写真、模型、あるいは、当館の開催行事で制作した作品等を公募し南部の曲家で展示。なお、優秀作品の表彰式を初日に行った。

イ. 期 間 平成21年3月1日(日)～3月20日(金・祝)

ウ. 場 所 南部の曲家

⑩ 春のお茶会

ア. 内 容 こども茶道体験教室の発表の場としてのお茶会。

イ. 期 間 平成21年3月15日(日)

ウ. 場 所 北河内の茶室

エ. 参加者 50名

⑪ フォークコンサート

ア. 内 容 市民グループによるフォークバンドコンサート。

イ. 実施日 平成21年3月29日(日)

ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

エ. 参加者 約100名

⑫ 米蔵ミニギャラリー展示

展示内容	期 間
第7回民家集落作品展・優秀作品展示	04月01日(火)～04月20日(日)
写真と能面作品展	04月26日(土)～05月25日(日)
写真展「タイマレーシアの建築」	06月04日(水)～07月31日(木)
写真展「檀原市今井町の町並み」	09月13日(土)～10月26日(日)
水彩画展「水彩で描く民家集落の四季の草花」	11月05日(水)～12月26日(金)
写真展「備中高梁と吹屋の町並み」	01月06日(火)～02月11日(水祝)
写真展「貴州省に少数民族の古民居を訪ねる」	02月14日(土)～03月31日(火)

⑬ その他、下記の取り組み及び行事を行った。

・「敬老の日」特別優待

9月13日(土)～23日(火・祝)、65歳以上の入館料を特別料金250円とし、粗品プレゼントを行った。(特別優待者数:130名)

- ・日向椎葉の民家の竣工に伴う催し

日向椎葉の民家の保存修理工事が6月に完成したことから、当該民家に関連する催しを実施。

「椎葉神楽(十根川神楽)の公演」・・・宮崎県東臼杵郡椎葉村十根川集落の方々の協力を得て、10月25日(土)・26日(日)の二日間4回の公演を実施。(観覧者583名)

宮崎県物産展」・・・宮崎県大阪事務所の協力を得て、10月11日(土)～11月3日(月・祝)の間、宮崎県物産の販売を行った。

- ・「日本民家集落博物館まつり」

11月23日(日・祝)・24日(月・休)、親しまれる博物館として広く府民にPRするため、模擬店・体験コーナー・府立3博物館による「出かける博物館」等を実施。府民団体等の協力を得て開催した。(入館者数 1,336名)

- ・「民家ツアー『備中高梁・吹屋をたずねて』」

11月30日(日)、当館学芸員が同行し、備中高梁・吹屋の見学ツアーを募集し開催した。(参加者17名)

- ・「みんなのスタンプを集めよう」

1月～3月、来館者サービスと博物館に親しんでいただくため、各民家にイラストゴム印を置きスタンプラリーを行った。

4. 普及啓発事業について

(1) 民家解説等の開催

① 民家解説

ア. 内容 20名の解説ボランティアが、館内いずれかの民家に常駐し、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ. 期間 年間を通じ開館日毎日

② 民家特別公開

ア. 内容 安全面等の配慮が必要であるため、平常は公開できない場所に5名のボランティアが担当し、来館者への特別公開を行った。

イ. 期間 年間を通じ火曜、土曜、日曜日中心に開催

ウ. 場所 飛騨白川の民家の2階、北河内の茶室

③ 「囲炉裏に火を入れて」

ア. 内容 29名のボランティアが、囲炉裏に火を入れ来館者へのいろいろ体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ. 期間 年間を通じ開館日毎日

ウ. 場所 飛騨白川の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家 他

(2) 連続講座－I

日本各地の民家について地域ごとの特徴を気候・風土・生活様式を交えながら解説した5回シリーズの講座を「カルチャはっとり」にて開催。

- ①演 題 「雪国（東北・北陸・滋賀北部）の民家」・・・06月21日（土）
- ②演 題 「関東・中央高地の民家」・・・07月19日（土）
- ③演 題 「近畿・中国・四国の民家」・・・08月16日（土）
- ④演 題 「九州沖縄の民家」・・・09月20日（土）
- ⑤演 題 「北海道の民家」・・・10月18日（土）
- 講 師 杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）
- ・受講者 合計 78名

（3）連続講座－II

企画展「奄美大島の民家と暮らし」と関連して、南国の人々の生活を解説した講座を「カルチュアはっとり」にて開催。

- ① 演 題 「農業技術から見る東南アジアの米蔵」・・・11月22日（土）
- 講 師 原野耕三（財団法人奄美文化財団理事長）
- ② 演 題 「奄美の自然と人々の関わり」・・・11月29日（土）
- 講 師 湯本貴和（総合地球環境学研究所教授）
- ・受講者 23名

（4）民家集落公開講座

3月28日（土）に「カルチュアはっとり」を会場に、以下の公開講座を開催。

- ① 演 題 「大和棟の話」
- 講 師 早瀬哲恒（日本民俗建築学会理事）
- ② 演 題 「大阪の民家」
- 講 師 杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）
- ・受講者 28名

（5）米蔵茶論

堂島の米蔵を会場に、当館館長を囲んで、文化財、民家、民具、その他について語り合うミニサロンを開催した。

- ・ 7月13日（日） 「タイ マレーシアの建築」
- ・ 10月19日（日） 「樫原市今井町の町並み」
- ・ 2月22日（日） 「貴州省に少数民族の古民居を訪ねる」

（6）子どもクラブ活動

子ども達が博物館に親しむとともに、当館が子ども達にとって安全で有意義な居場所となることを願って、小中学生を対象に様々な体験活動を行った。なお、活動の指導・支援は当館職員及びボランティアが担当し、子ども達と地域の人々との交流の場となった。

クラブ名	対 象	参加者
みんなクラブ	土・日曜日を中心に活動	24名

(7) こども茶道体験教室

北河内の茶室を利用して、小中学生を対象に「こども茶道体験教室」を開催、指導は、裏千家の岡村矩巳子、柏原和子、石田収二にお願いした。

こども茶道体験教室	6月1日(日)～2月28日(土)の 日曜日を中心に18回活動	18名
-----------	-----------------------------------	-----

(8) こども囲碁クラブ

小中学生を対象に大和十津川の民家を会場として「こども囲碁クラブ」を開催、指導は関西棋院の芦田磯子棋士を中心にボランティア13名があたった。

こども囲碁クラブ 4月12日(土)～3月28日(土)の土曜日を中心に33回活動 35名

(9) 博物館実務実習

大学生に対し、博物館学芸員の実務について指導した。

期 間	大 学 名	人 数
8月2日(土)・3日(日)	奈良大学	40名

(10) 職場体験学習

中学生の職場体験学習を受け入れ、民家の清掃や囲炉裏の世話、野外作業、窓口業務等の体験を行うとともに、昔の生活や民家について学習を深める機会とした。

期 間	中 学 校 名	人 数
11月2日(日)～7日(金)	豊中市立第十七中学校	3名

(11) その他

近隣の小学生を招待し、当館の畑でボランティアが栽培したサツマイモの芋掘り、民家の庭でセイロ蒸しと試食、併せて民家の学習を行った。

期 間	学 校 名 ・ 学 年	人 数
10月17日(金)	豊中市立緑地小学校3年生	89名

5. 広報事業について

(1) 広報事業

① 博物館の事業内容等を広く周知するためPR紙等を作成・配布した。

項 目	発行月	発行部数
秋の催し案内	8月	10,000
冬の催し案内	12月	10,000
春の催し案内	3月	10,000

ふるさとだより No. 30	12月	3,000
----------------	-----	-------

- ② インターネットを活用し、ホームページに催し案内を掲載した。
URL <http://www.occh.or.jp/minka/>
- ③ 各事業の実施にあたって、府庁記者クラブ、豊中市記者クラブ、地域広報紙等に資料提供を行った。
また、豊中市広報誌への掲載、豊中ケーブルテレビでの放送を依頼することによって、地域に密着した博物館となるよう努めた。
- ④ 来館者が当館紹介のDVDを視聴できるよう、堂島の米蔵内にコーナーを設けるとともに、希望者に無料で貸し出しを行い広報に努めた。

6. 館内施設の整備について

(1) 火災報知機等弱電気関係の整備工事

館内の火災報知機の配線等の劣化・老朽のため、全面改修工事を施工。あわせて、各民家・事務所等間のインターフォンの更新・増設工事を行い、各民家間、事務所等の間での連絡を図れるようにした。また、館内放送設備についても機器及び配線の劣化・老朽のため全面改修工事を施工した。

これらの整備工事により、火災等非常変災時の情報収集・避難誘導に際しての条件整備が図られた。

(2) 展示民家の屋根の補修

越前敦賀の民家の屋根の損壊が著しく雨漏りがするため、屋根上部の修理を行った。

(3) ボランティア活動による館内の整備

竹林や植栽の手入れ・花壇や畑の作物の栽培等をボランティア（参加9名）に依頼し、施設の整備や館内の景観保全に努めた。

(4) 館内緑化

財団法人日本宝くじ協会より桜の苗木100本の寄贈を得て植樹を行った。

(5) その他

業者委託により、危険高木（クヌギ、ハゼ）の伐採を実施した。

7. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成20年度)

月	入館者数(人)	入館料収入(円)	開館日数(日)
4月	5,526	2,091,150	26
5月	6,729	1,880,750	27
6月	2,278	733,800	25
7月	1,672	470,950	27
8月	1,684	484,850	27

9月	2,328	687,790	25
10月	6,944	1,792,700	27
11月	4,774	1,273,400	26
12月	1,575	426,500	22
1月	1,562	454,050	23
2月	4,111	1,083,450	24
3月	3,225	1,125,400	26
合 計	42,408	12,468,790	305

※ 入館料については消費税込みで記入。

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成 20 年度	42,408 人	12,468,790 円	305 日
平成 19 年度	39,781 人	12,013,250 円	306 日
平成 18 年度	44,267 人	13,676,800 円	305 日

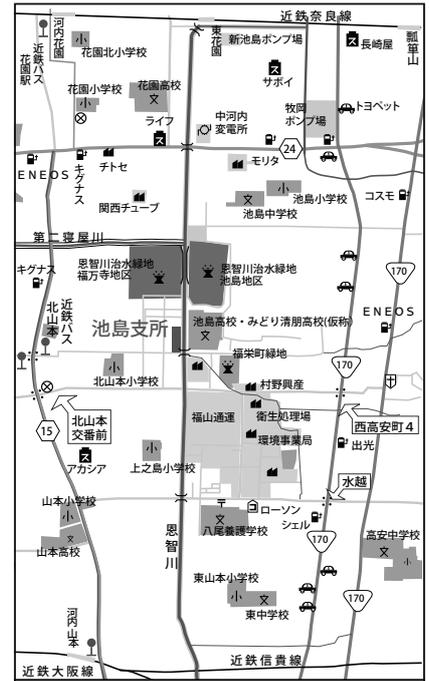
事務所・博物館所在地



京阪調査事務所
〒576-0022
交野市藤が尾1丁目2
TEL.072-895-1200 FAX.072-895-1201



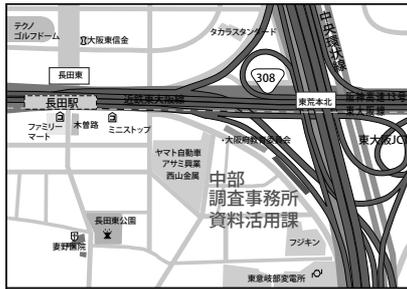
寝屋川分室
〒572-0824
寝屋川市萱島東3丁目28-4
TEL.072-823-6831 FAX.072-823-6835



池島支所
〒581-0842
八尾市福万寺町8丁目
TEL.072-999-9890 FAX.072-990-5131



本部事務所
〒590-0105
堺市南区竹城台3丁目21-4
TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905



中部調査事務所
〒577-0012
東大阪市長田東1丁目9-16
TEL.06-6785-3921 FAX.06-6785-3515
資料活用課
TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431



南部調査事務所
〒590-0015
堺市堺区南田出井町1丁目1-10
TEL.072-227-6001 FAX.072-227-6101



古市分室
〒583-0854
羽曳野市軽里3丁目1-13
TEL.072-950-2080 FAX.072-958-5855

ホームページアドレス

(財)大阪府文化財センター
<http://www.occh.or.jp>

大阪府立弥生文化博物館
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

大阪府立近つ飛鳥博物館
<http://www.mediajoy.com/chikatsu/>

日本民家集落博物館
<http://www.occh.or.jp/minka/>



大阪府立弥生文化博物館
〒594-0083
大阪府和泉市池上町4丁目8-27
TEL.0725-46-2162 FAX.0725-46-2165



大阪府立近つ飛鳥博物館
〒585-0001
大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL.0721-93-8321 FAX.0721-93-8325



日本民家集落博物館
〒561-0873
大阪府豊中市服部緑地1-2
TEL.06-6862-3137 FAX.06-6862-3147

財団法人 大阪府文化財センター年報

平成 20 年度

平成 22 年 1 月 15 日 発行

発行 財団法人 大阪府文化財センター

〒 590 - 0105 大阪府堺市南区竹城台 3 丁 21 - 4

TEL072 - 299 - 8791 FAX072 - 299 - 8905

印刷 株式会社 明新社

表紙 シンボルマーク

八尾市美園遺跡出土 重要文化財 家形埴輪